

資料 2

～各団体の取組成果・次年度以降の取組予定～

各団体の取組内容一覧	・ ・ ・ P 1
《兵庫県》	・ ・ ・ P 1 0
《岡山県》	・ ・ ・ P 1 9
《広島県》	・ ・ ・ P 2 5
《徳島県》	・ ・ ・ P 3 1
《香川県》	・ ・ ・ P 3 5
《愛媛県》	・ ・ ・ P 4 1
《高知県》	・ ・ ・ P 4 5
《本四高速》	・ ・ ・ P 5 6
《NEXCO西日本》	・ ・ ・ P 6 6
《中国地整》	・ ・ ・ P 7 0
《四国地整》	・ ・ ・ P 7 1

情報発信（1 / 2）

令和5年3月15日時点

観光地名称を表示した標識

兵庫県	平成30年度に対象箇所を選定し、淡路島内は既に完了（対策箇所1箇所）。 完 県道志筑郡家線の交差点を観光地名「伊弉諾神宮」に変更。
広島県	国道183号の交差点において、H29年に国営公園の名称を表示した標識に改善。 完
徳島県	<u>県道鳴門池田線において、観光地名称を表示した案内標識を設置。引き続き、地元自治体と連携し、必要に応じて整備。</u>
四国地整	直轄14か所、直轄以外3か所で実施。今後直轄以外の路線においても改善が必要な箇所について整備を推進。

案内の多言語化

兵庫県	平成27～30年度に県管理道路全ての案内標識の英語表記の改善が完了（淡路島内シール貼対応:349枚） 完
岡山県	令和元年度に県内景勝地等の英語表記を決定。案内標識の更新・新設のタイミングに合わせて順次整備。
広島県	宮島周辺道路等の主要な観光地において英語表記を適正化。 完
徳島県	地元自治体と連携し、必要に応じて整備。
四国地整	令和元年度に英語表記対訳リストの素案を作成済。現在、地理院地図に対する英語表記との突合作業を実施中。

高速道路ナンバリング等

兵庫県	淡路島内の県管理道路について、2019年度までにすべて完了（対策箇所34箇所）。 完
広島県	計画箇所においてR2年までに設置完了。 完
徳島県	『徳島県の道路』パンフの中で地図上の高速道路にナンバリングを記載。 完
四国地整	高規格道路、直轄国道等の対象路線においては2020年末までに完了。 完

※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目

情報発信 (2/2)

令和5年3月15日時点

情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ

兵庫県	YouTubeによる淡路島観光動画の放映。 完
-----	--------------------------------



四国八十八景のプロモーション



四国地整	「四国八十八景」と「道の駅」が相互連携し電子スタンプラリー。
------	--------------------------------



SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信

兵庫県	兵庫県HP及び県観光協会HPのトップ画面において、「かんせと」のバナーを掲載。
香川県	デジタルマーケティングを活用したSNS広告配信など、効果的な情報発信により誘客促進をはかる。
愛媛県	デジタルマーケティングを活用したサイクリスト誘致促進
各団体	各団体で活用しているSNSに「#かんせと」を付加し、環瀬戸内海地域で連携した情報発信をはかる。
四国地整・ 本四高速	周遊観光に繋がる環瀬戸HPリニューアル案の提案



※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目

観光連携（1 / 3）

令和5年3月15日時点

環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興

兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路島内のサイクリングコース「アワイチ」での走行環境整備等。 ・淡路島ロングライド150の代替イベントの実施。 	NEW
岡山県	岡山県サイクリング推奨 8 ルートを活用した「おかやまハレいろサイクルスタンプラリー」の実施。	
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング環境の整備（矢羽根型路面標示・ルート案内板・急勾配注意看板等の設置、道路空間再分配など） ・サイクリングに関する取組の推進（サイクリングマップ作成、サイクルイベント等出展、自転車マナーアップ啓発事業、人気漫画とコラボしたサイクリングウェア等作成、しまなみ海道自転車道無料化など）。 ・<u>やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2022の開催。</u> 	
愛媛県・広島県	サッカー公式試合での交流促進（ブース出展して観光パンフレット等を配布）。	
中国地整	<u>やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2022の開催</u>	
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴門市による「海峡またぎ」事業を開始し、トラック・マイクロバス・路線バスを活用した自転車輸送で、鳴門海峡を渡りサイクリストのニーズに対応。 ・<u>サイクリング専用の大型観光バス「サイクル・キャビン」を製作し、サイクリングツアーを開催。</u> 	
広島県・愛媛県	サイクリングしまなみの開催、「E-B I K E アクションしまなみ」の展開、受け入れ環境の整備（ブルーライン、案内看板、路肩拡幅、矢羽根の設置）、しまなみ海道の自転車通行料金の無料化	
四国4県	サイクリングアイランド四国の実現に向けた取り組み（四国一周路面案内ピクトの整備、四国一周モニュメントの設置、完走者によるしまなみ訪問の仕掛け、四国一周ファンミーティング）	
愛媛県	サイクリング・マナーアップに向けた取り組み（キャッチフレーズ「あいさつ響く 愛顔のShimanami」の制定、ボイスメッセージの設置、コロナ禍におけるサイクリングマナーを策定）	
本四高速・愛媛県	瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進。	

※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目

令和5年3月15日時点

観光連携 (2 / 3)

瀬戸内海の「海」の魅力の発信

兵庫県・徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・明石海峡大橋海上ウォーク、大鳴門橋うずしおウォークの開催。 ・<u>「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す。</u>
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・環瀬戸協議会HP等掲載のインフラマップの情報更新や旅行業者に対する情報提供等により、『インフラツーリズム』の認知度向上と、民間主体のインフラツーリズムの構築に向けた取組みを実施。 ・「屋島ウォーク」や「里海ガイドと行く『海辺のおでかけマップ』ウォーキングツアー」を実施。
愛媛県	<p>しまなみ海道の更なる魅力向上（来島海峡大橋のキャッチコピー「クラウン・ブリッジ」を制定、アート・モニュメントの設置、サイクリングを核とする「体験型コンテンツ」の造成等の支援、ローカル 5 Gを活用したオリジナルムービー、<u>来島海峡大橋と欧米豪の著名な橋との「姉妹橋協定」の締結に向けた取組み</u>）</p>
本四高速	<ul style="list-style-type: none"> ・長大橋の塔頂体験等と瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値が高いツアーを実施。 ・塩飽諸島を初めとした瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ドライブスタンプラリーにおいて「しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりコース」を実施。</u> ・<u>しまなみエリア活性化事業の実施。（尾道市生口島等においてホテルの開業や既存観光施設のリニューアルを実施）</u>

観光地における渋滞緩和

NEW

兵庫県	湊交差点にて、R2年度までに交差点改良事業を実施。 完
広島県	宮島口周辺において、観光シーズンの駐車場容量の確保や混雑回避案内などの対策実施。

利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定

岡山県	観光情報サイト「岡山観光WEB」によりモデルドライブルートを紹介。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年に広島湾域の水上・海上交通の利活用に関するMAP作成。 完 ・R1年に宇品旅客ターミナル観光案内所リニューアル。 完 （観光案内・地図・パンフレット提供、ディスプレイによる瀬戸内の観光情報の動画放映、無料公衆無線LANサービス） ・宇品外貿において大型クルーズ客船に対応する岸壁延伸及びクルーズターミナル整備。 ・R2年に宮島口旅客ターミナルの供用開始、ターミナル内に観光案内所を開設。 完

※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目 4

令和5年3月15日時点

 **観光連携 (3 / 3)**

2次交通の改善、MaaS

兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> 神戸三宮バスターミナルと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線。(淡路IC～淡路島北部西海岸は一般道を通行)をR3.12.1に新設。 完 高速バス往復乗車券と島内路線バスの乗り放題切符をセットにした企画乗車券の販売。
-----	---

周遊を支援する事業の実施

兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表や観光情報などを掲載した淡路島公共交通ポータルサイトの開設。 <u>旅をきっかけに健康になるツーリズムを新たな観光として推進。</u>
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <u>岡山DESTINATIONキャンペーン「こころ晴ればれ おかやまの旅」の実施。</u> <u>岡山後楽園 夜間特別開園などの実施。</u>
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> <u>「ぐるっと徳島周遊観光キャンペーン」を実施し、来県した観光客の円滑な県内周遊を促進。</u> 完 <u>県内及び対象地域に在住の方が県内で宿泊、旅行商品を購入した場合に、代金の助成を行うとともに、県内の利用対象施設で利用できるクーポンを提供する「みんなで！とくしま応援割」を実施。</u> 完 <u>県内へ旅行する場合に旅行代金(宿泊料金)の割引とクーポンを付与する「みんなで！徳島旅行割」を実施</u> (「みんなで！徳島応援割プラス」で上乗せ助成を実施)。 <u>観光キャンペーン「#徳島あるでないで」を実施。</u>
香川県	<ul style="list-style-type: none"> <u>香川県への旅行に対する助成を行うとともに、土産物店、観光施設等で利用可能なクーポン券を発行。</u> <u>宿泊施設が行う感染症対策や、ワーケーションの受入環境等、新たな事業展開に要する経費を支援。</u> 完 <u>OTAと連携し、新たな観光スタイルに対応した体験コンテンツを造成、販売することで誘客を図る。</u>
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> えひめ南予きずな博の開催。 しまなみ海道自転車道を利用する修学旅行を対象にレンタサイクル費用等の一部を助成。 <u>「広域サイクルツーリズム圏域」の形成。</u>
高知県	<ul style="list-style-type: none"> 高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」。 <u>高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」</u>

NEW

NEW

NEXCO	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興に向けた取組み(ドライブパス)。 高速道路を活用した地域貢献の取組み(<u>自治体との連携による地域共創の取組み</u>)。
-------	---

※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目

産業連携

令和5年3月15日時点

物流機能の強化

徳島県	埋立地にできる新たな産業拠点と高規格道路を結ぶ地域活性化ICを整備し、物流機能の強化を図る。
-----	--

産業基盤の整備

兵庫県	・淡路島中央SICの整備（平成30年2月開通）。 完 ・洲本市の企業用地（誘致推進）。
岡山県	産業団地開発支援事業（市町村が行う産業団地開発事業の経費に対する無利子貸付）の創設（令和3年度）。
徳島県	徳島津田ICのフルインターチェンジ化により、産業拠点と県南地域へのアクセス性向上を図る。
香川県	香川県企業誘致助成制度による助成やワンストップサービスによる各種行政手続の支援により企業誘致を促進。
愛媛県	大規模工場等の誘致に向けた産業用地確保の取組み。
高知県	産業基盤の整備。
本四高速	坂出北ICのフルインター化。

ワーケーション、サテライトオフィス等の取組

兵庫県	パソナグループによるワーケーション拠点施設の開設（令和3年4月）。 完 （神戸淡路鳴門自動車道の淡路IC付近）
香川県	サテライトオフィス開設や事業所として取得した空き家の改修、拠点整備などの経費の一部を支援。

※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目

令和5年3月15日時点

皿 生活、文化等

環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化

高知県	歴史的遺産のネットワーク構築とP R。
本四高速	瀬戸内地域に存する美術館・博物館81施設のネットワークのつながりを深化、発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献。

環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

	<p>以下のような取組を実施 完</p> <p>【誘客キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心齋橋PARCO（令和3年3月9～16日）、銀座蔦屋書店(令和3年3月13～27日)において誘客キャンペーンを実施し、淡路の魅力を広くPRを実施。 ・楽天トラベルを活用したWEBプロモーションを実施。 <p>【インバウンド対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響によりインバウンド誘客が見込めないことから、淡路島の豊かな自然の風景や文化の映像を8K映像に収めたプロモーション動画を制作し、国内外に淡路島の魅力を発信。 <p>【御食国淡路島の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外へ販路のある国内在住バイヤーを淡路へ招聘するとともに、台湾の食品バイヤーとオンライン商談会を実施し、淡路島と海外の販路拡大を図った。 <p>【淡路花博花みどりフェア】の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「淡路花博2015花みどりフェア」において、「海のフードコート」「兵庫県物産フェア」等を開催し、兵庫県の食をPR ※淡路花博2020花みどりフェア（2021年春）においても、「島スイーツガーデン（4/10,11）」を実施。
兵庫県	
徳島県	高速道路SAやイベント会場において、環瀬戸内海の食文化パネル展等を実施。
本四高速	地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点として、SA・PAを最大限活用。

🗨️ その他 (1 / 2)

令和5年3月15日時点

「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組

兵庫県	<p>以下のような取組を実施</p> <p>【観光客の実態調査】 調査実績なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※「道の駅うずしお」→全国道の駅最強ランキング (2021.8) で全国1位 ※「道の駅あわじ」→じゃらん道の駅満足度ランキング2018で全国1位 <p>【トイレの洋式化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島内の道の駅 (「あわじ」「うずしお」「東浦ターミナルパーク」「福良」) において、いずれも洋式トイレは設置済み (洋式化率は4駅全体で62%)。 完 ・道の駅あわじにてトイレ改修済み (R元年度)。 完 <p>【フリーWiFi設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島内の道の駅「あわじ」「うずしお」で設置済み。 完 <p>【スタンプラリーの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度より道の駅カードを販売 (県内35駅のうち30駅が参加)。 →30駅すべて集めれば、府県コンプリートカードがもらえる。 ※上記はいずれも近畿道の駅連絡会、兵庫県道の駅連絡会による。
岡山県	<p>Wi-Fiは、市町村と連携し、県内の全駅で整備完了。県所管の和式トイレ (8駅) は、洋式化対応完了。 完</p>
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化を実施。 ・フェアフィールド・バイ・マリオット・広島世羅の開業 NEW
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化、フリーWi-Fiの整備。 完 ・<u>「とくしまブリッジカード」を配布 (英語版を作成予定)。</u> ・<u>道の駅穴喰温泉などを周遊する「DMV」の運行を開始。</u>
香川県	<p>道路管理者が管理する7駅においてトイレの洋式化に全て対応 (R2年度完了)。 完</p>
四国地整	<p>【トイレの洋式化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直轄一体型「道の駅」は令和4年度中に整備完了予定。 <p>【フリーWiFiの設置、キャッシュレス決済環境の整備、免税対応・免税店の拡大、多言語対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各省庁の「道の駅」に関する説明会を実施し、整備を促進。 <p>【道の駅での相互連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四国八十八景」とコラボした「電子スタンプラリー」を実施。

※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目 8

🗨️ その他（2 / 2）

令和5年3月15日時点

「道の駅」施設管理における見える化

広島県	サービス水準の維持・向上のため、設置者と運営者と連携して毎年度3~4駅ずつ点検を実施。
四国地整	快適な「道の駅」を目指すために、定期的な点検やアンケート等を実施し、改善を図る。

道路ネットワーク整備

徳島県	命の道である高規格道路のミッシングリンク解消に向けた要望活動を引き続き行うとともに、地方創生の礎となる県管理道路の整備を行い、移動しやすい道路環境を創出する。
四国地整	令和3年4月に「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を策定し計画的に推進。

※下線部は、令和4年度第1回協議会に新しく追加した項目

<兵庫県>誘致効果【洲本市の企業用地（誘致推進）】

1.誘致施策

【兵庫県：H14.4月から】

- ①補助金
→設備投資、雇用
- ②税軽減
→不動産取得税、法人事業税

【洲本市：H23.4月から】

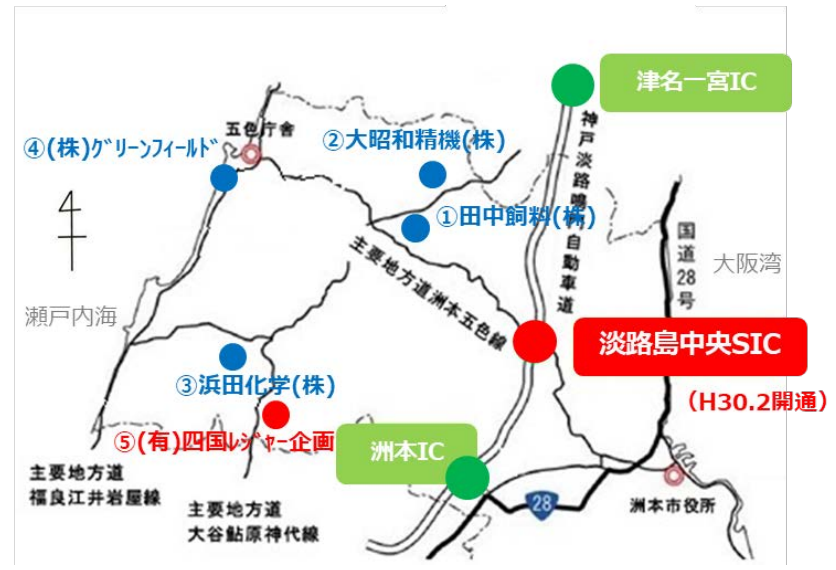
- ①企業誘致奨励金
→固定資産税相当額を5年間
- ②雇用促進奨励金
→新規雇用（市民）1人につき30万円
- ③事業所施設設置奨励金
→床面積（1,000㎡を超える分）1㎡につき1万円
- ④高速道路渡橋料金補助（R3.1月から）
→1の年度につき60万円



2.誘致効果

淡路島中央S I C整備決定(H25.6月)後に立地した企業

企業名	所在地	業務内容
①田中飼料(株)(本社 京都市) (R3.1開業)	洲本市五色町 鮎原南谷	飼料化リサイクル
②大昭和精機(株)(本社 東大阪市) (H28.10開業)	洲本市五色町 鮎原中邑	工具保持具、精密測定機器の開発、製造
③浜田化学(株)(本社 尼崎市) (R1.12開業)	洲本市五色町 下堺	食品加工、バイオディーゼル燃料製造
④(株)グリーンフィールド(本社 大阪市) (R1.12一部開業)	洲本市五色町 都志万歳	会員制リゾートホテル
⑤(有)四国インター企画(本社 南あわじ市) (R4.4開業)	洲本市五色町 上堺	食肉加工



■淡路島中央SIC利用によるストック効果

洲本市では、生産用機械器具製造工場が多く立地しており、製造品の多くは神戸淡路鳴門自動車道を経て国内へ出荷されている。
平成26年に新料金となり、平成25年に淡路島中央SICの整備が決まった結果、洲本市西部では、工具保持具の開発・製造で国内50%を超えるシェアを占める大昭和精機(株)などの企業の進出が進んでおり、SIC整備によるストック効果が現れている。

■本四間の物流・交流について

淡路島中央SICの整備により
物流面：洲本市の企業誘致の取組みや淡路島中央SICの整備をきっかけとして、製造拠点が建設され、本四高速利用による物流の増加
観光面：会員制リゾートホテルの建設や市内全域のアクセス性向上などにより、本四高速利用による観光人口の増加

参考：R6本四料金値上げに対する企業の声*

現行料金で収支計算しており、値上げされると経営に痛手。
何とか現行料金を維持してもらいたい！

※洲本市への聞き取り内容を踏まえ作成

<兵庫県>淡路島における観光需要復興に向けた取組

○瀬戸内海の「海」の魅力の発信

明石海峡大橋海上ウォーク／大鳴門橋うずしおウォークの開催



【明石海峡大橋全景】



【明石海峡大橋管理路】



【ウォークイベントビラ】

【具体的な取組】

- R2・R3年度は新型コロナウイルスの影響で中止
→R4年度は明石海峡大橋海上ウォーク、大鳴門橋うずしおウォーク、明石海峡大橋と大鳴門橋を一度に渡る2橋ウォークの実施を予定
(R5年3月18日(土)、3月19日(日)予定)

(参加予定人数)

- 明石海峡大橋海上ウォーク 1,065名(各日)
- 大鳴門橋うずしおウォーク 135名(各日)
- 2橋ウォーク 135名(各日)

○HPを活用した情報発信

兵庫県HPへのバナー掲載

【具体的な取組】

- 兵庫県HP及び県観光協会HPのトップ画面において、「かんせと」のバナーを掲載



【兵庫県HP】

○観光地における渋滞緩和

交差点改良事業の実施

【具体的な取組】

- 湊交差点にて、交差点改良事業を実施・完成【完】



【湊交差点(改良後)】

○「道の駅」における

インバウンド対応・交流促進の取組

観光客の実態調査

- 「道の駅うずしお」・「道の駅あわじ」
→全国道の駅最強ランキング(2021.8)等で全国1位

トイレの洋式化

- 淡路島内の道の駅(「あわじ」「うずしお」等)において、洋式トイレ設置済【完】
- 道の駅あわじにてトイレ改修済(令和元年度)【完】

フリーWiFi設置

- 淡路島内の道の駅「あわじ」「うずしお」で設置済【完】

スタンプラリーの実施

- 令和3年度より道の駅カードを販売

<徳島県・兵庫県> 「鳴門海峡の渦潮」 世界遺産登録

鳴門海峡にうず巻く世界の奇観「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す

「鳴門海峡の渦潮」

- ◆ 渦の大きさ最大時直径約 30 mは世界最大級
- ◆ 潮流の速さ時速約 20 km
- ◆ 世界三大潮流にあげられる
- ◆ 歌川広重・葛飾北斎の浮世絵などにも描かれた



【鳴門海峡の渦潮】

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会

- 構成団体 兵庫・徳島両県の
関係行政機関、各種関係団体、議員 等
- 設立 平成26年12月18日
- 事業内容 世界遺産登録に向けた
調査研究・普及啓発・情報発信 等



【ノルウェー・ノード大学との共同研究】



【鳴門海峡の渦潮（文化）】
（鳴門一中油彩画作品展）

その他の推進団体

- ・ NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会
- ・ 「うず潮」の世界遺産登録を推進する淡路島議員連盟
- ・ 鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会
- ・ 世界遺産登録をめざす鳴門市議員連盟

令和4年度の事業内容(令和5年度も実施予定)

- ・ 自然遺産・文化遺産登録に向けた学術調査（海外含む）
- ・ 鳴門海峡の渦潮パンフレット（日本語）の改訂・増刷
- ・ 鳴門海峡の渦潮ラッピングバスの運行
- ・ 普及啓発活動支援事業（地元活動への助成制度）



【普及啓発活動支援事業】
（3海峡クリーンアップ大作戦）

3海峡クリーンアップ大作戦

- 令和4年11月5日（土）実施
- ・ 伊弉海岸（鳴門海峡、南あわじ市）
⇒ 600名参加
- ・ 生石海岸（紀淡海峡、洲本市）
⇒ 300名参加
- ・ 田の代海岸（明石海峡、淡路市）
⇒ 400名参加
- 参加割合：島内8割 島外2割

<兵庫県>淡路島における観光需要復興に向けた取組

○サイクリングアイランド淡路島の推進

アワイチでの走行環境整備、ロングライド代替イベントの実施

淡路島内のサイクリングコース「アワイチ」での走行環境整備や受入環境の充実等を推進

[具体的な取組]

- 路肩拡幅、側溝蓋掛け等の整備、サイクルラックの設置、交通拠点等へ案内標識等の設置、道の駅等へ日よけ・ベンチ等の整備、モニュメントの設置



【サイクルラックの設置】
(淡路市野島 大川公園)



着手前



完成後

【路肩拡幅】
(淡路市尾崎)



【アワイチ】



【モニュメント設置イメージ】
(淡路市岩屋)

R4年度は、アワイチの起終点である
岩屋港にモニュメントを整備
(R5年2月完成)

R4年度は淡路島ロングライド150の開催は見合わされたものの、代替イベントを実施。期間中(R4.9.1~R4.12.27)、アワイチコースを走行すると、抽選で豪華賞品が当たる！



【アワイチ×サイクルボール】



【特賞 淡路牛1万円分】



【特賞 ロングライドオリジナルジャージ】



【サイクルボール企画】

(サイクルボール企画とは)
日本中の名だたるサイクリングコース(アワイチやびワイチ等)を一周すると、走破の証しにサイクルボールがもらえる。サイクルボールを集めると、ロードタイヤ等のサイクリング関連賞品が当たる！

<兵庫県> 淡路島における観光入込客数

淡路島は「観光」が基幹産業

[観光客が1年間で消費した額/人口]

淡路地域 95.9万円/人

全県平均 24.0万円/人

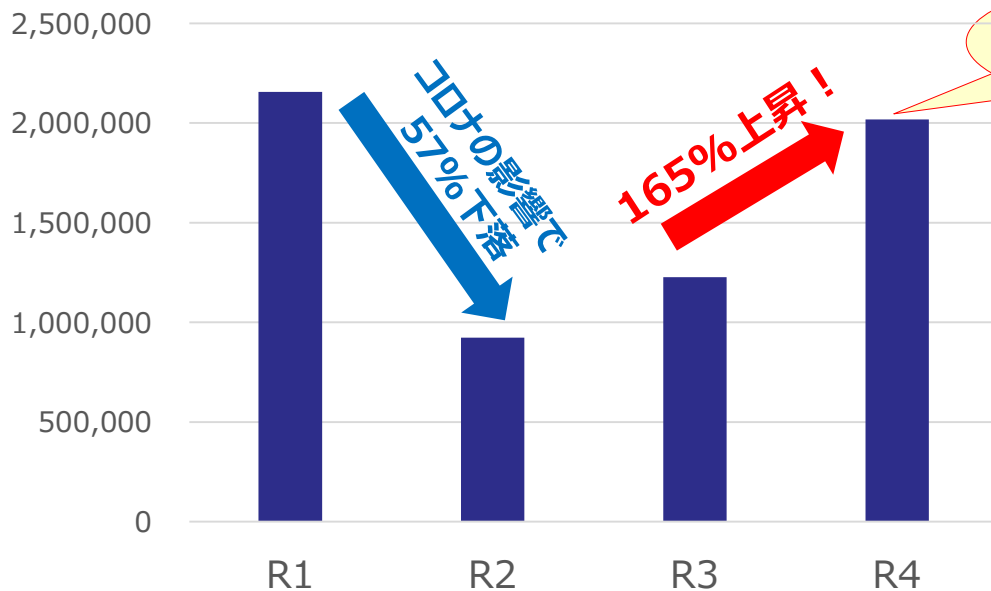
約4倍!

淡路島の地域活性化、瀬戸内地域の交流人口拡大のためには

本四高速料金の現行料金水準維持が必要!

※R元年度データをもとに作成

○淡路島 主要観光施設*の入込客数の推移(4月~9月)



R元年度比94%まで回復!

※淡路島の主要観光施設 (淡路ワールドパークONOKORO、ウェルネスパーク五色、アワジファームパークイングランドの丘等)の合計入込客数



淡路ワールドパーク ONOKORO



アワジファームパーク イングランドの丘

<兵庫県>淡路島におけるパナグループの事業展開・行政支援

1. 東京から淡路島への本社機能移転

産業面

パナグループ本社機能移転

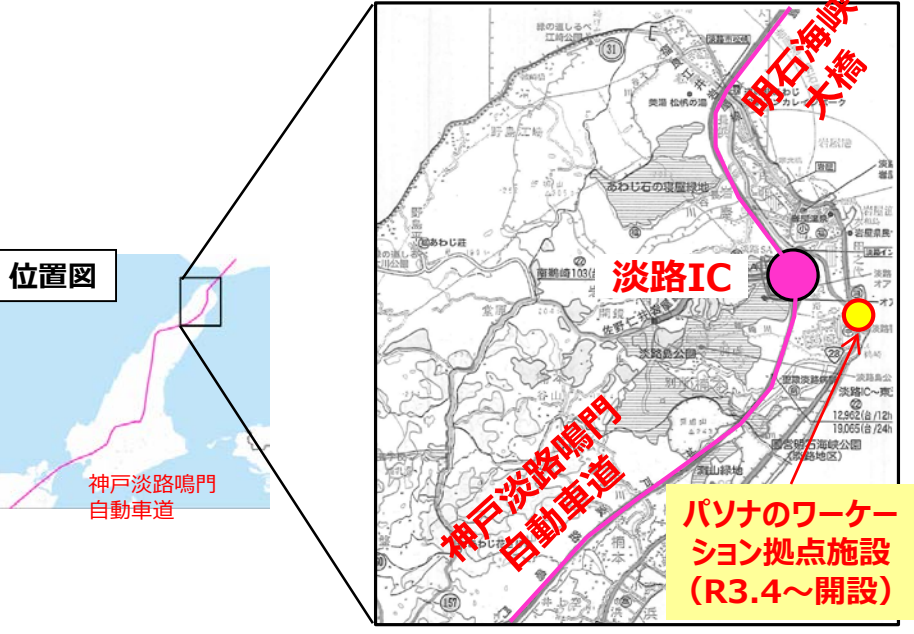
2024年5月までに
管理部門社員1200人が淡路島内に異動

本社機能移転や雇用創出を行政支援

- [協議会名]
淡路島パナHQTQ (ヘッドクォーター) 協議会
- [行政メンバー]
兵庫県淡路県民局
淡路市、洲本市、南あわじ市

2. ワークेशन事業の拠点施設を開設

ワークेशन拠点施設をR3.4に開設



3. 淡路島北部西海岸への観光誘客

観光面

<施設立地状況>

パナグループ運営の観光施設等が数多く立地

<アクセス性>

従来(～R3.11)

自家用車以外でのアクセスが悪い

公共交通機関でのアクセスは、コミュニティバスのみであり、自家用車以外の観光客の移動手段が脆弱

現在(R3.12～)

神戸⇄淡路島にバス新路線

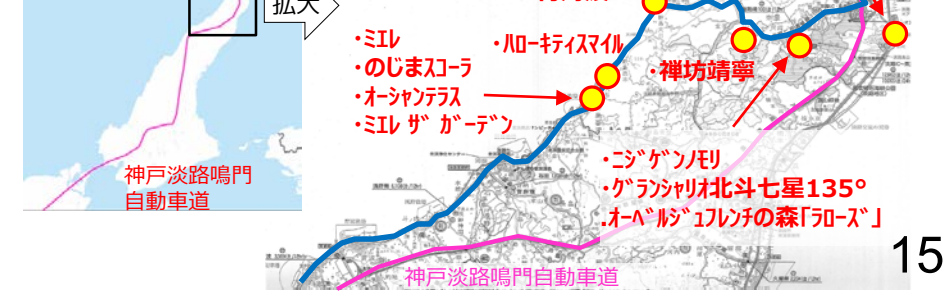
神戸三宮バスターミナルと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線(淡路IC～淡路島北部西海岸は一般道を通行)をR3.12.1に新設

- ※神姫バス(株)と本四海峡バスの共同運行
- ※1日あたり、平日11往復、土日祝日10往復で運行
- パナグループが運営する観光施設周辺にバス停留所を設置
- ⇒観光客等の利便性向上に寄与

新路線開設に向け、県が支援

- ・高速バス新路線の誘致、調整
- ・パナグループとの調整
- ・新設バス停設置のための道路整備 (側溝蓋がけや樹木剪定等)

位置図



<兵庫県>淡路島における観光需要復興に向けた取組

○地域資源を活かした観光振興

首都圏等への観光誘客キャンペーンの展開【完】

従来からのコアターゲットである関西圏へのP Rに加え、**宿泊が期待できる首都圏・中京圏等への積極的なプロモーションを展開**することで観光商圈を広げ、淡路島への誘客を促進

[具体的な取組]

- YouTube やWeb バナー等での観光動画の放映



【淡路島の主な観光地】

○地域公共交通の充実

淡路島を訪れる観光客が利用しやすい公共交通の実現

[具体的な取組]

- 時刻表や観光情報などを掲載した淡路島公共交通ポータルサイトの開設
- 高速バス往復乗車券と島内路線バスの乗り放題切符をセットにした企画乗車券の販売
- 神戸三宮BTと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線をR3.12に新設【完】



【企画乗車券】

(高速バス乗車券と島内路線バスのセット券)



【企画乗車券チラシ】

○観光客にわかりやすい標識の整備

観光地名称を表示した標識

[具体的な取組]

- H30年度に対象箇所を選定し、淡路島内は完了、県道志筑群家線の交差点を観光地名「伊弉諾神宮」に変更【完】

高速道路ナンバリング等

[具体的な取組]

- 淡路島内の県管理道路について、R元年度までに全て完了【完】(対象箇所34箇所)

案内の多言語化

[具体的な取組]

- H27～30年度に県管理道路全ての案内標識の英語表記の改善が完了【完】(淡路島内シール貼対応：349枚)



【案内標識英語表記】

○ヘルスツーリズムの推進

新型コロナウイルス感染予防など健康に対する意識が高まる中、自然豊かな淡路島において、旅をきっかけに健康になるヘルスツーリズムを、新たな観光として推進する。

ヘルスツーリズムツアー(モニター)の開催

体験型ツアーの実施

[具体的な取組]

- R4年12月に観光施設において2泊3日の健康体験(湯めぐり、健康サイクリング、ヘルシーBBQ、農業体験等)を実施
⇒ 関西圏より二人の参加

(1日目) 湯めぐり、エステ等

(2日目) 健康サイクリング、ヘルシーBBQ等

(3日目) 乗馬、農業体験等



【湯めぐり】



【ヘルシーBBQ】

民間事業者や行政等の意見交換会の実施

[具体的な取組]

- ヘルスツーリズムに参画した民間事業者や行政、観光協会等が連携し、今後のヘルスツーリズムの推進にあたっての意見交換会を実施(R5年2月)。

情報プラットフォームの開設

[具体的な取組]

- 淡路島で実施可能なヘルスツーリズムのツアーやコンテンツの紹介等の情報発信をするホームページを開設する(R5年2月完成)。

ヘルスツーリズム認証

[具体的な取組]

- モニターツアー等の成果を踏まえた新たな旅行プログラムを造成し、「ヘルスツーリズム認証制度」への登録を目指す。

[ヘルスツーリズム認証制度]

- 旅の喜びとともに健康への気づきをもたらす旅行プログラムの品質を評価し、消費者が安心して効率的・合理的に事業者を選択することができるよう設けられた第三者認証制度

<兵庫県>淡路島における食文化等の発信・伝承

○誘客キャンペーン

心齋橋・銀座における誘客キャンペーンの実施【完】

- ・心齋橋PARCO、銀座蔦屋書店(ともに令和3年3月)において誘客キャンペーンを実施し、淡路の魅力を広くPR
- ・楽天トラベルを活用したWEBプロモーションを実施

[具体的な取組]

- 心齋橋PARCOの会場にクレーンゲーム「たまねぎキャッチャー」を設置
⇒来場者数 2,300人(若者が多)



【たまねぎキャッチャー】

○インバウンド対応

国内外にプロモーション動画を発信【完】

- ・新型コロナウイルスの影響によりインバウンド誘客が見込めないことから、淡路島の豊かな自然の風景や文化の映像を発信

[具体的な取組]

- 淡路島の豊かな自然の風景や文化を8K映像に収めたプロモーション動画を国内外に発信



Awaji Island Japan 8k
【プロモーション動画】

○御食国淡路島の推進

淡路島の食材を活用した海外プロモーション【完】

淡路島の食材の海外への販路拡大を目指し、御食国淡路島の推進

[具体的な取組]

- 海外へ販路のある国内在住バイヤーを淡路へ招聘
- 台湾の食品バイヤーとオンライン商談会を実施し、淡路島と海外の販路拡大を図った。

○「淡路花博花みどりフェア」の開催

食を中心とした地域づくりの推進【完】

- ・「淡路花博花みどりフェア」において、兵庫県の食をPR

[具体的な取組]

- 「淡路花博2015花みどりフェア」において、「海のフードコート」「兵庫県物産フェア」等を開催し、兵庫県の食をPR
- ※淡路花博2020花みどりフェア(2021年春)においても、「島スイーツガーデン」を実施



【淡路花博 花みどりフェア】

令和4年度のイベント等

○おかやまハレいろサイクルスタンプラリー

岡山県サイクリング推奨8ルートを活用し、県内観光地等への誘客促進と地域のにぎわいづくりを目的にスタンプラリーを実施。

観光施設などのチェックポイントに設置しているスタンプ（QRコード等）をスマートフォンで読み込み、条件をクリアした方の中から抽選で地域の特産品などをプレゼント。

開催期間 令和4年7月1日(金)～12月31日(土)

○岡山後楽園

開園時間を延長し園内をライトアップするとともに、季節に応じた各種イベントを実施

・夜間特別開園 夏の幻想庭園

令和4年8月1日(月)～8月31日(水)

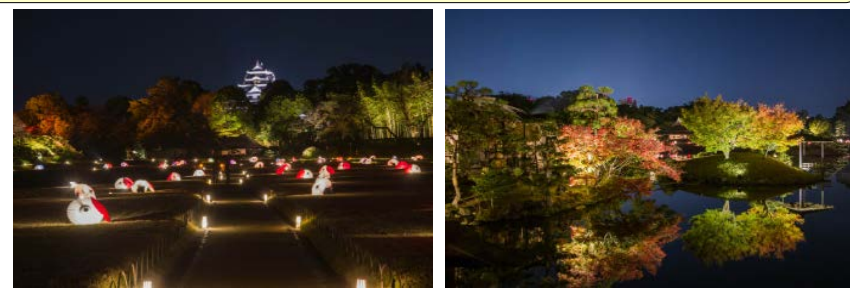
・夜間特別開園 秋の幻想庭園

令和4年11月18日(金)～11月27日(日)
*岡山城のリニューアルオープンと連携

約5万7千人が来場 (R1は約4万1千人)



約3万1千人が来場 (R1は約2万人)



スタンプラリー参加登録が約1千9百件



○岡山デスティネーションキャンペーン（岡山DC）

自治体・観光関係者とJR6社などが共同し一体となって作り上げる大型観光キャンペーン。

期間中、晴れの国岡山の豊かな自然、朝と夜の楽しみ方や旬のフルーツをテーマにした魅力的な企画を準備し、全国からお越しの皆様をお迎え。

キャンペーン期間 令和4年7月1日(金)～9月30日(金)

期間中、主な観光施設等118施設の利用者数は3,669千人
(対前年比139.1%)



岡山の夏の魅力を満喫

蒜山ハーブガーデンハービルを夜間開園してスターウォッチングを開催
(計8回 424人参加)



蒜山スペシャリスト
(真庭市)

果物生産者の方から果物について学びながら、収穫体験を実施
(計11回 133人参加)



ツウになるフルーツ探訪
(岡山市)



ライトアップ
(岡山市、倉敷市、津山市)

岡山デスティネーションキャンペーン <アート>

(7/20~8/31の期間中、約3万7百人参加)



イメージです

mt project
(岡山市、瀬戸内市)

開放的な瀬戸内海を舞台にマスキングテープ
(mt) を用いたアートプロジェクト



美作三湯芸術温度との連携

アートに関心のある方へアピール

<美作三湯芸術温度>

美作三湯(※)の温泉宿にアーティストを招き、
宿の特色を踏まえた作品を制作・展示。

※美作三湯・・・県北にある西日本有数の温泉地

(湯原、湯郷、奥津)

(157人参加)



大原美術館プレミアムモーニングツアー
(倉敷市)

開館前の密を避けた時間に行く「モネ」をテーマにした朝食付きの特別な鑑賞ツアー

(8/27~12/4の期間中、
約12万4千人来場)



○おかやま秋旅キャンペーン

紅葉シーズンや旬を迎えるフルーツの体験、「令和の大改修」を終えリニューアルオープンした岡山城など「この秋ならではの」の企画に加えて、アートや朝と夜の楽しみ方といった、岡山DCで好評をいただいた企画を延長。

キャンペーン期間

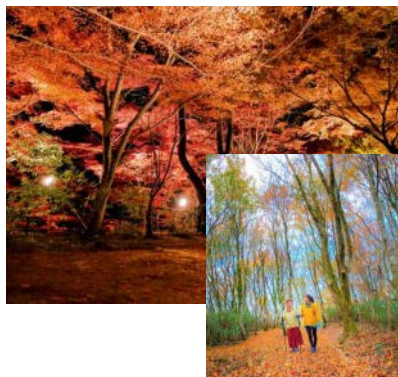
令和4年10月1日（土）～12月31日（土）

期間中、主な観光施設等119施設の利用者数は3,665千人
(対前年比111.5%)



紅葉を生かした企画

紅葉名所である奥津溪や鶴山公園のライトアップ。鏡野町の高清水トレイルでのプレミアムハイクを実施。



星空満喫の企画

美星天文台に直行する「『星空特等席』行きバスツアー」を実施。



令和5年度のイベント等

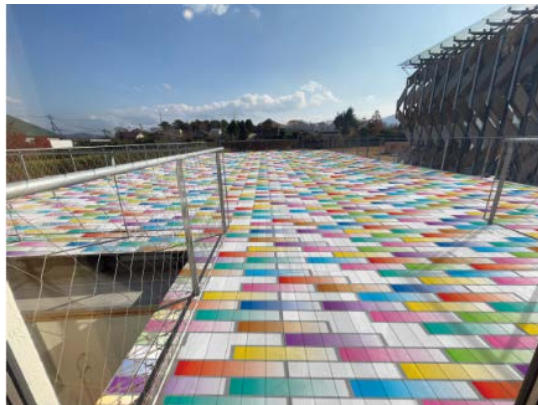
○岡山デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーン

「岡山デスティネーションキャンペーン」に合わせて行った観光素材の開発や磨き上げ、全国に向けたPR等の取組を発展・継続させるため、引き続き、市町村やJR西日本等と連携し、アフターキャンペーンを実施。

キャンペーン期間 令和5年7月1日（土）～9月30日（土）

アートに関する企画

カラフルなマスキングテープと観光地のコラボレーションを、蒜山高原をメインに、旧吹屋小学校や倉敷美観地区でも展開。



mtプロジェクト イメージ
(GREENable HIRUZEN)

岡山の夜を楽しむ企画

岡山後楽園の「夏の幻想庭園」、倉敷美観地区にある大原家旧別邸・有隣荘の夜間特別公開など、夜に楽しめる企画を実施。



有隣荘夜間特別公開イメージ

歴史スポットでの企画

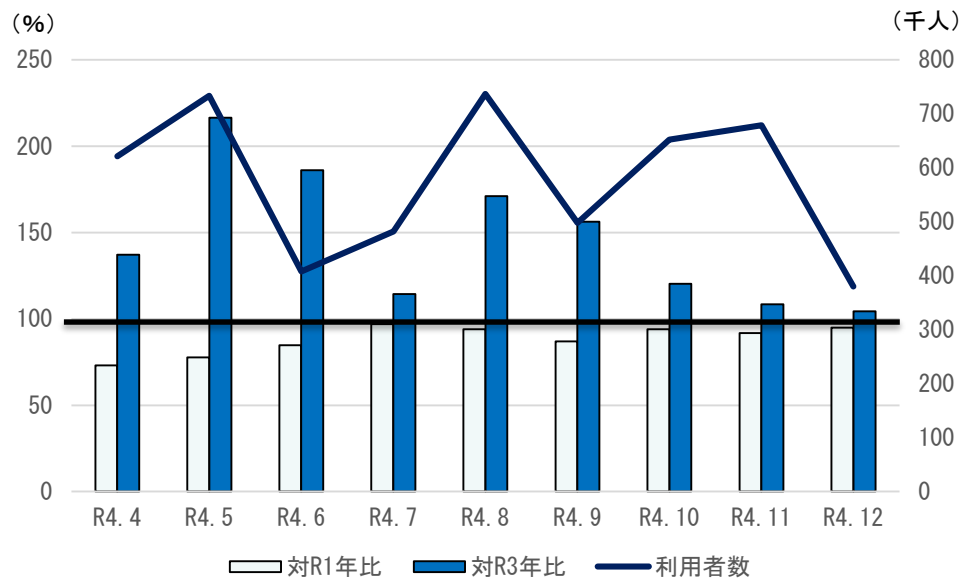
旧閑谷学校での論語体験、北木島観光タクシーツアーなど、日本遺産をはじめとした歴史スポットでの特別企画を実施。



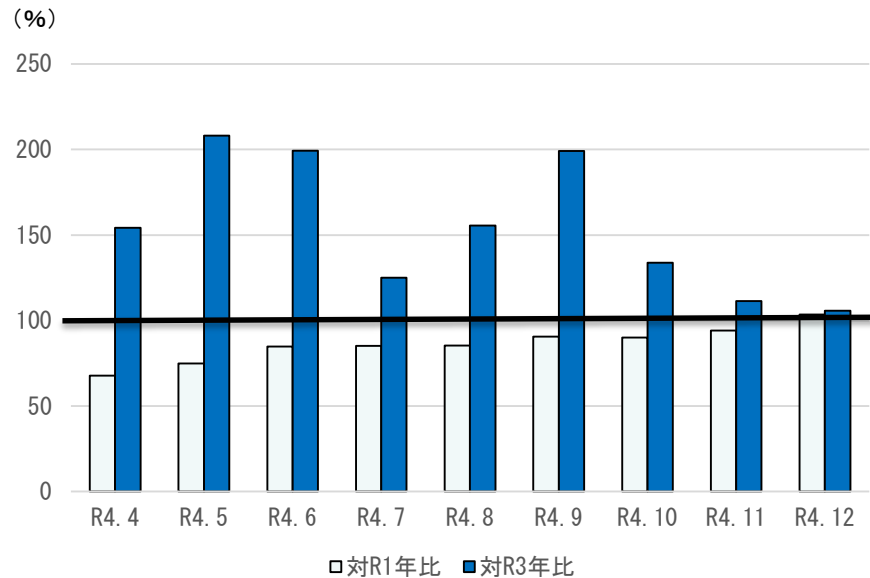
石切りの溪谷展望台（北木島）

<参考> 新型コロナウイルス感染拡大による観光面での影響

○県内の主な観光施設 (30施設) の利用者増加率等



○県内の主な宿泊施設の宿泊者増加率



※県が任意で選定した旅館・ホテルの宿泊者数 (各月34~40施設を選定)

* 人気スポットアクセスランキング (岡山観光WEB 2023.2.21現在)



1 倉敷美観地区



2 吹屋ふるさと村



3 鬼城山(鬼ノ城)



4 倉敷デニムストリート

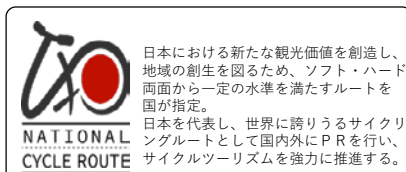
<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取り組み成果【サイクリング】

1 サイクリングによる観光振興

■ ナショナルサイクルートの指定

平成11年に全橋供用され、しまなみ海道サイクリングロードが全線開通して以来、走行環境の整備や情報発信を推進。

しまなみの多島美などの魅力的な景観に加え、これまでに整備した走行・受入環境や体制等が評価され、「ナショナルサイクルート」第1次指定において選定された。(R1.11.7)



■ 中国地方5県のサイクリングキャンペーン

中国地方知事会において2022年3月1日～5月29日の間、中国地方5県（鳥取・島根・岡山・広島・山口）のサイクリングマップに掲載している全62コースの周辺を訪問した際の自転車と風景の写真を投稿して参加し、各県特産品やオリジナルサイクリングウェア等が当たるキャンペーンを実施した。

応募総数：延べ1,339件



2 安全で快適なサイクリング環境の整備

■ ブルーラインや案内看板等の設置

自転車の走行位置の明確化と逆走を防止するとともに、自動車運転者に対して注意を促す。



ブルーライン



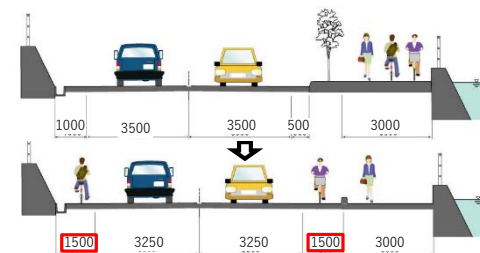
矢羽根型路面表示



ルート案内板

■ 道路空間の再配分

自転車以外の通行に必要な幅員は確保しながら、植樹帯の撤去や車線幅の縮小により、自転車が安全に通行できる空間を確保。

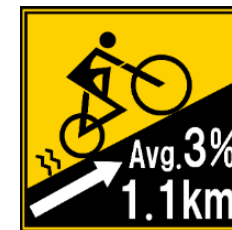


■ 急勾配注意喚起看板

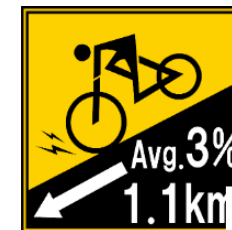
上りでは、体力や体調にあわせたサイクリングを促し、下りではスピードの抑制を促す。



▼上り勾配



▼下り勾配



3 サイクリングしまなみ2022の開催

2014年に開催した国際大会以降、4年に1度大規模大会(約7,000人規模)を開催し、中間年に中規模大会を開催。

2022年10月30日(日)に開催した国際大会においては、**6,371人**が参加。この内、海外からは台湾やインドネシア、アメリカなど33の国と地域から180人が参加。国内外の多くの参加者に楽しんでいただいた。

高速道路を規制して行う日本唯一のサイクリング大会

世界有数のサイクリングコースを使った国際的なファンライドイベント

瀬戸内しまなみ海道の魅力を堪能できるコース設定

瀬戸内の島ならではの「おもてなし」



参加者

国籍	参加者数
日本 国内	6,191名
台湾	38名
インドネシア	24名
アメリカ	19名
オーストラリア	18名
韓国	15名
フィリピン	9名
イギリス	8名
中国	8名
ドイツ	4名
ベルギー・ベトナム・オランダ・UAE	各3名
ブラジル・スイス・香港・ウズベキスタン・マレーシア	各2名
デンマーク・カナダ・フランス・アルゼンチン・スウェーデン・シンガポール・スリランカ・バブアニューギニア・ポーランド・メキシコ・イスラエル・セルビア・パナマ・ルーマニア・スペイン	各1名

当日の様子



来島海峡大橋を走る中村愛媛県知事と湯崎広島県知事



向島ICにて手を振りスタートする齊藤国土交通大臣

コース 8コース (30km~140km)

併催イベント

- ステージイベント：郷土芸能、ゲストトークショー等
- ブース出展：協賛企業、自治体等 75ブース

新たな取り組み

- 広島側往復コース(尾道⇄生口島)を設定
- 尾道フィニッシュ会場を尾道市役所に変更
- 広島スタートを向島ICに変更(高速道路走行区間の延長)



4 しまなみ海道の自転車道無料化・情報発信

■ しまなみ海道自転車道無料化

従前は全線通行した場合に500円であった自転車通行料金を広島県・愛媛県で料金を負担し、平成26年より無料化。

なお、令和4年3月31日までであった無料化は、令和4年3月4日に令和6年3月31日まで延長することが決定。



協賛ポスター

■ 企業協賛・グッズ販売

広島県・愛媛県・尾道市・今治市で構成する「しまなみ海道自転車道利用促進協議会」において、グッズの販売やサイクリスト支援型自販機の設置をするとともに、企業協賛を募集。グッズ等の売り上げの一部や企業からの協賛金は自転車の通行料金無料化の財源として充当するとともに、マナーアップの普及啓発や自転車安全大会などに活用している。



サイクリスト支援型自動販売機



人気漫画とのコラボウェア



コロナ禍サイクリングマナー向上チラシ

■ しまなみ海道自転車安全大会@因島



しまなみ海道自転車安全大会

令和4年11月12日(土)に因島を中心とする周辺島嶼部のサイクルツーリズム資源を活用し、因島及び周辺島嶼部の振興を図ることと自転車の安全啓発活動を目的として因島で開催。のろのろ一本橋全国大会等のイベントが行われ、STU48がゲストで大会に参加。参加者数：約700人

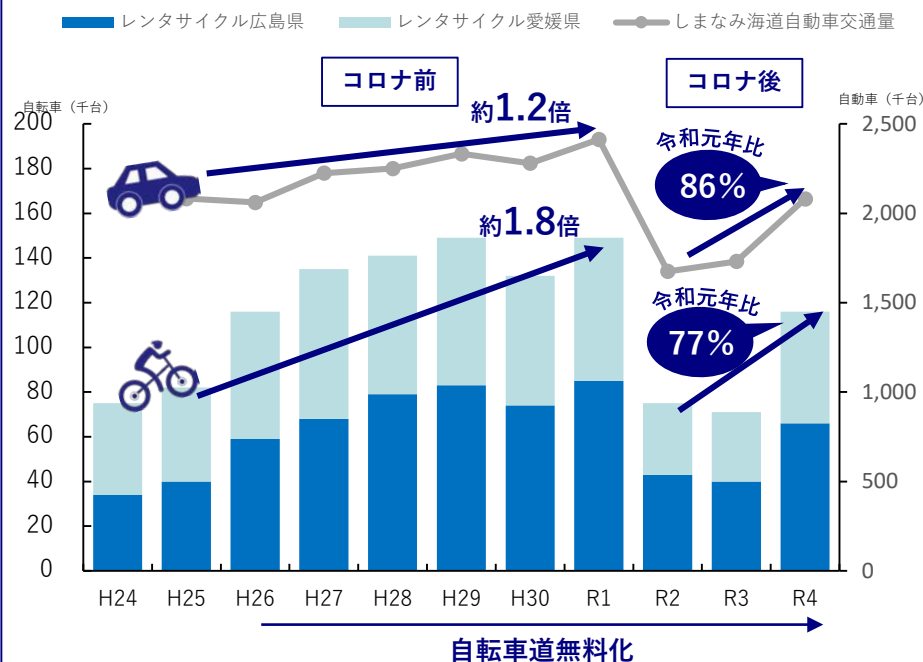
◆ サイクリングに関する取り組み成果

■ コロナ前までの取り組み成果

コロナ流行前は、レンタサイクルの貸出数及びしまなみ海道自動車交通量は年々増加しており、自転車通行料金無料化前の平成25年度から令和1年度を比較すると、**レンタサイクル貸出数は約1.8倍** (6.7万台増)、**しまなみ海道自動車交通量は約1.2倍** (33万台増)となっていたが、令和2年度と令和3年度は、コロナの影響で低迷。

■ コロナ後の取り組み成果

令和4年度は増加傾向へ戻り、令和1年度と比べて**レンタサイクル貸出数は77%**、**しまなみ海道自動車交通量は86%**まで回復した。



<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取り組み成果【その他】

5 しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりドライブスタンプラリー

中国5県と日本自動車連盟「JAF」が連携して実施している「ドライブスタンプラリー」において、9つの橋でつながる「瀬戸内しまなみ海道」、安芸灘大橋など7つの橋でつながる「とびしま海道」、3月に開通した岩城橋など3つの橋でつながる「ゆめしま海道」をめぐり、青い海と美しい橋が織りなす風光明媚な瀬戸内海を楽しみながら周遊する「しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりコース」を令和4年4月20日～令和4年12月23日に実施。

各海道の魅力を体感できる機会を創出し、新規に海道間の周遊者を獲得。408人の参加者に楽しんでいただいた。



6 道の駅のインバウンド対応・交流促進の取組

■ 湖畔の里福富

トイレの洋式化を実施。

■ よがんす白竜・クロスロードみつぎ・世羅

サービス水準の維持・向上のため、設置者と運営者と連携して点検を実施。

■ 「フェアフィールド・バイ・マリオット・広島世羅」の開業

積水ハウス株式会社と外資系大手ホテルグループが提携し、地域観光の拠点として「道の駅」と一体となって地域活性化に貢献するため、宿泊特化型のホテルが令和4年12月に開業した。



7 観光地名称を表示した標識

国道183号の交差点において、国営公園の名称を表示した標識に改善。



8 案内の多言語化

主要な観光地において英語表記を適正化。



バイパスの英語表記を「By-pass」→「EXPWY」へ変更

9 高速道路ナンバリング

道路施設やストック効果など道路事業の重要性を広く周知するための資料として作成する「広島県の道路」(平成29～)をはじめとし、各種関係資料にナンバリングを記載。



10 利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定

■ 広島湾域 MAP作成



■ 宮島口旅客ターミナルの供用開始・観光案内所の開設



11 観光地における渋滞緩和

宮島口周辺において、観光シーズンの駐車場容量の確保や混雑回避案内などの施策を実施。

<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取り組み成果と今後の取り組み

1 しまなみエリアの活性化

尾道市の生口島等において、高付加価値旅行者層をターゲットとしたホテルの開業や既存の観光施設のリニューアルなどが相次いでおり、しまなみ海道沿線の更なる魅力アップに向けた取組みを推進している。

瀬戸田・しまち商店街「空き物件活用プロジェクト」



Soil Setodaを手掛けたしまち企画が空き物件活用プロジェクトでショップハウスを開発。2025年までに空き家のリノベーション型と新築型を合わせて、**10棟を超えるショップハウスをオープン予定**で、**第1弾は総菜屋と宿泊施設が2023年春に開業予定**。

障がい者の就労と宿泊・交流体験型福祉施設



旧瀬戸田町営プール跡地に障がい者の就労と宿泊・交流ができる体験型の福祉施設を**2023年秋にオープン予定**。

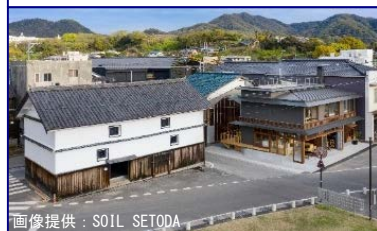
Azumi Setoda 2021年3月開業



画像提供：AZUMI

旅館ブランド「Azumi」が手掛た、築約140年の豪商屋敷をリノベーションした旅館。

Soil Setoda 2021年4月開業



画像提供：SOIL SETODA

江戸時代建造の「旧瀬戸田民俗資料館」を観光案内所や「Overview coffee」の焙煎所、宿泊施設に改修。



Ryokan尾道西山



(株)せとうち旅館が、尾道市の老舗旅館・西山別館の運営を引き継ぎ**施設のリニューアル等を行いながら更なる価値向上を目指し2023年春に開業予定**。

上質な宿泊施設の開発促進事業



ポストコロナのインバウンド復活を見据え、宿泊施設の質向上を目的に観光庁が企画。2021年12月に旧瀬戸田南小学校が選定され、**11社が現地視察等を実施中**。

グランドーム瀬戸内しまなみ 2021年8月開業



ドーム型テントグランピング施設。レンタサイクルなどのアクティビティも整備。

シトラスパーク 2022年8月リニューアルオープン



グランピング施設やドッグランを新たに整備しリニューアルオープン。

<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた今後の取り組み

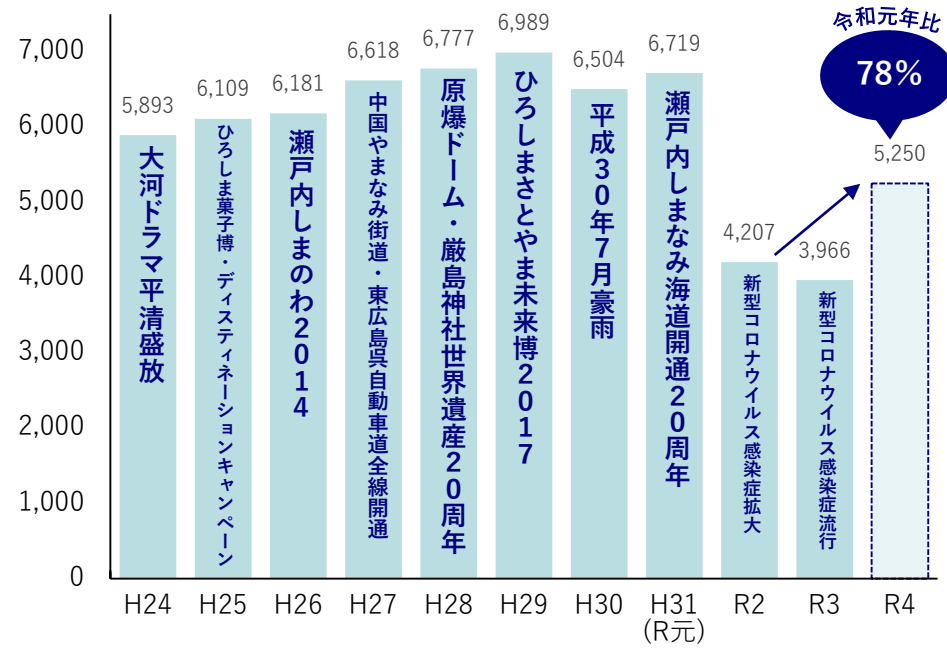
広島県の総観光客数

本県の総観光客数は、平成25年に初めて6,000万人を突破した後、平成29年まで6年連続で過去最高を更新しており、順調に推移していたが、平成30年は西日本豪雨災害等の影響により前年を6.9%下回ることとなった。

平成31（令和元）年は回復に転じたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による影響を受けた令和2年以降は大幅に減少した。

令和4年の総観光客数（推計値）は5,250万人となっており、コロナ流行前の平成31（令和元）年と比較して78%まで回復している。

広島県の総観光客数の推移 (単位：万人)



※ 令和3年までの総観光客数：「広島県観光客数の動向（令和4年7月）」による確定値
 ※ 令和4年の総観光客数：「広島県観光客・宿泊客モニタリング月報」による推計値

2 しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりドライブスタンプラリー

令和4年度全体参加者数が17,000人を超えた、中国5県と日本自動車連盟JAFが連携して実施する「ドライブスタンプラリー」において、「しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりコース」を今年度に引き続き、来年度も開催。開催期間は令和5年4月20日から令和5年12月25日まで。



3 しまなみ海道の自転車通行料金の無料化

平成26年度から実施しているしまなみ海道の自転車通行料金の無料化について、令和6年3月31日までの継続が決定。

4 大型クルーズ客船対応

宇品外貿にて大型クルーズ客船に対応するクルーズターミナル整備を実施。

G7広島サミット

G7広島サミット
 2023 5.19→5.21 開催
 @広島県広島市（サミット会場：グランドプリンスホテル広島）

HIROSHIMA SUMMIT
 広島サミット実行委員会

<徳島県> 交流促進に係る取組 (1 / 2)

1. パネル展の実施

R4.8.27 (土)

Jリーグ公式戦「徳島ヴォルティス vs レノファ山口FC」

来場者数：約4,500人

R4.11.26 (土) ,27 (日)

えひめ・まつやま産業まつり

※本四高速、愛媛県、徳島県共同で出展

来場者数：約9万人 (2日間)

今後もJリーグなどのイベントに併せて実施予定



「各県の食文化」及び「道路のストック効果」を紹介



各県の観光、グルメパフレットを配布

2. 大鳴門橋うずしおウォークの実施

世界遺産の登録を目指す「鳴門海峡の渦潮」を眺めながら、大鳴門橋の管理路を歩いて渡るウォークイベントを開催

※本四高速、兵庫県等と連携して開催

(主催：本四道路活用イベント実行委員会)

R5.3.18 (土) ,19 (日) に開催し、2,670人が参加予定

※参加予定人数は、同日開催の明石海峡大橋海上ウォーク、2橋ウォークを含む



管理路

大鳴門橋



ウォークイベント実施状況



イベントチラシ

3. サイクリング専用の大型観光バスによるツアーの実施

「サイクル・キャビン」 R3.11月運行開始 乗車定員20人、積載可能台数19台

・稼働実績 ※近畿のサイクリスト等が利用

R4.4.24 海部観光しまなみ海道バスツアー

R4.8 貸切ツアー 3件

R4.5 貸切ツアー 1件

R4.10.29,30 サイクリングしまなみ

R4.6.19 蒲郡オレンジトライアスロン

(出展展示含む)

R5.3.4,5 サイクルモード大阪出展展示

R4.7 貸切ツアー 2件



専用車両を導入



イベントでPR

4. 周遊観光の促進

R4.4月からR4.10月まで「みんなで！とくしま応援割」を実施



- 概要
徳島県内へ旅行する場合に、旅行代金（宿泊料金）の割引とクーポン付与
- 対象者
徳島県，香川県，愛媛県，高知県，鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県，兵庫県，和歌山県に在住の方

R4.10月からR5.3月まで「みんなで！徳島旅行割」を実施
（「みんなで！徳島旅行割プラス」はR4.11月～）



- 概要
徳島県内へ旅行する場合に、旅行代金（宿泊料金）の割引とクーポン付与
※旅行割プラスで上乗せ助成を実施
- 対象者
全国
（日本国内に居住する旅行者）

R4.10月からR5.3月まで「#徳島あるでないで」を実施

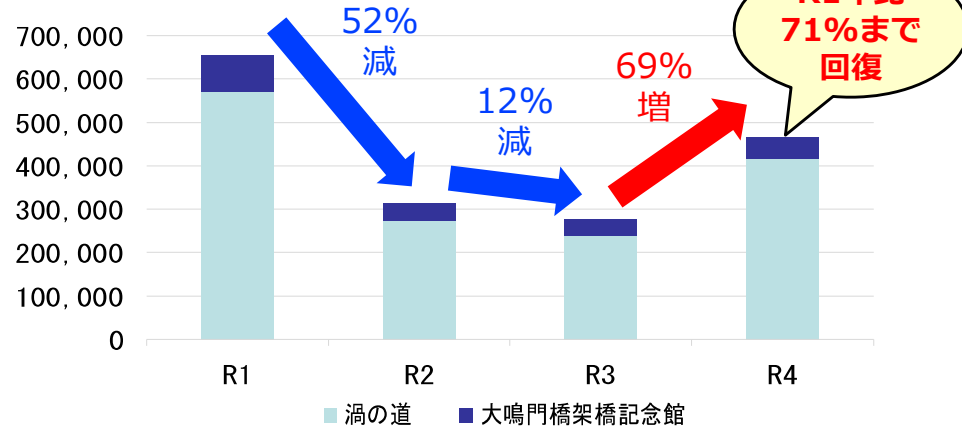


- 概要
徳島県内を東部・南部・西部の3エリアに分け、各地域別に旬の魅力を紹介

5. 大鳴門橋周辺の観光施設の入込状況

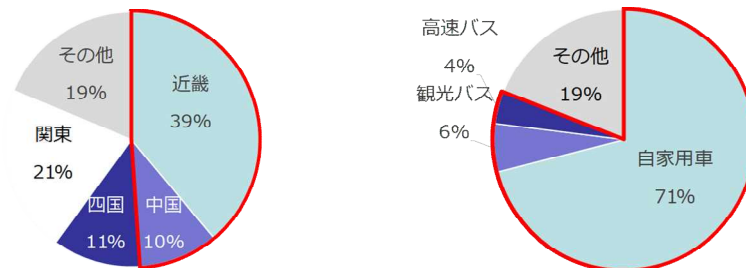
令和2年、令和3年は新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少
令和4年は、令和元年の約7割まで回復

■ 入込客数の推移（1月～12月）



■ 入込客の居住地・利用交通手段

※渦の道でのアンケート（R元年度）より



中国・近畿が約5割

自動車が約8割

環瀬戸内海地域の交流人口拡大のためには、交流促進に係る取組の実施に加え、

令和6年度以降の本四高速を含めた「全国共通料金制度」の継続が必要

1. 誘致施策

■ハード整備

【事業名】

徳島小松島港 津田地区活性化整備事業

【概要】

徳島南部自動車道及び徳島津田ICの整備により、「陸・海・空の結節点」となる津田地区において、遊休化していた水面貯木場を埋め立て、新たな企業用地(約9.8ha)を造成

■施策・制度

【徳島県】

- ①補助金
- ②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円

【徳島市】

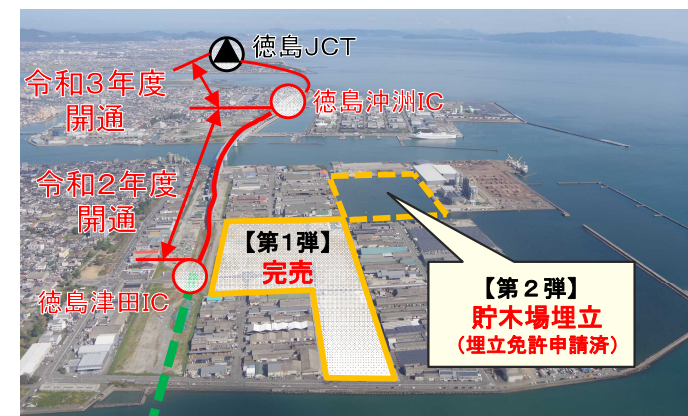
- ①固定資産税・都市計画税の免除(3年間)
- ②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円



2. 誘致効果

南海トラフ巨大地震を迎え撃つ命の道となる徳島南部自動車道の徳島津田ICに隣接し、周辺地盤より約2m高く造成した安全安心な企業用地を整備

- ・【第1弾】全14区画完売
- ・【第2弾】埋立免許の取得に向けた手続を開始(埋立免許申請済)
- ・令和4年3月21日に「徳島JCT・徳島沖洲IC間」が開通し、全国の高規格道路ネットワークに直結
- ・産業・流通の拠点として大きな経済効果や新たな雇用の創出が期待できる。

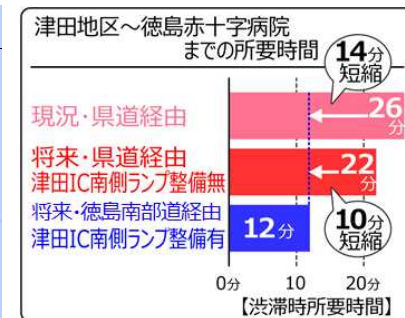


■本四間の交流人口について

平成28年に策定した「徳島小松島港津田地区活性化計画」を実現する第一歩として、津田地区を企業が集積する「産業拠点」へと再生するとともに、今後、新たな賑わいを生む交流拠点が立地する「複合型先進拠点」へとさらなる発展を遂げることができるよう段階的な事業展開を図ることにより、交流人口のより一層の拡大に寄与する。

■四国横断自動車道(徳島南部自動車道)の整備促進及び徳島津田ICのフルインターチェンジ化によるストック効果

- 県南地域や京阪神へのアクセス性向上による
 - ・県外企業の新たな立地、企業間取引拡大・交流促進
 - ・県内企業の集積、物流機能の強化・効率化
- 安全安心な企業用地の確保による、地域防災力の向上
- 救急搬送の定時制確保による、救命率の向上



徳島市から徳島赤十字病院(小松島市)への搬送

<徳島県> 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組

1.道の駅などを周遊するDMVの運行

世界初の本格営業運行を令和3年12月25日から開始

阿佐東線はDMV導入後、1年間で
過年度の年間乗車人数の約2倍の利用を達成

台湾からの団体ツアーを受け入れ (R5.3.12乗車)

四国以外からの利用者が約8割を占める

DMV 1周年記念イベント (R4.12.25)



■ イベントでのPR (令和4年度)



2.とくしまブリッジカードの配布

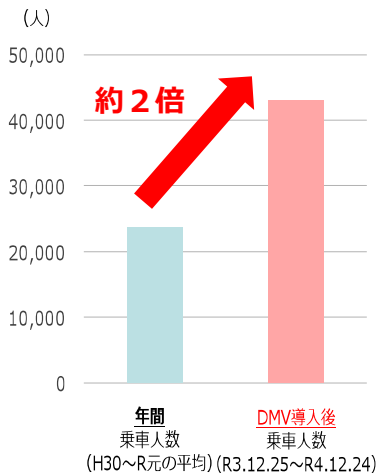
吉野川に架かる橋の写真をカードした
「とくしまブリッジカード」を県内の道の駅等で配布

今後は英語版を作成予定

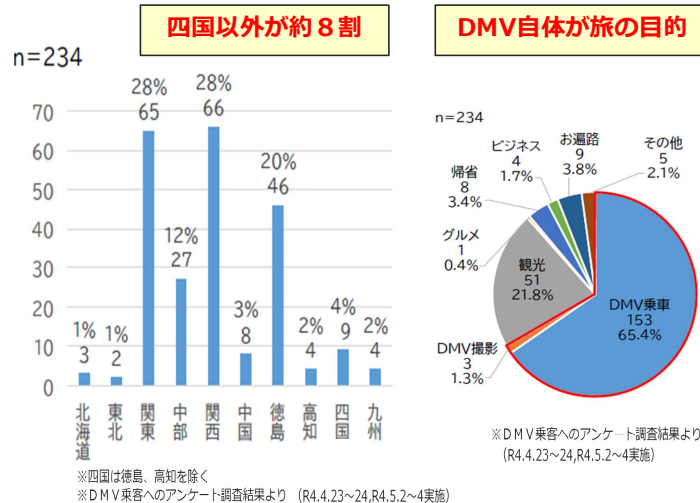


47の橋が架けられており、
橋梁形式は多種多様!

■ 阿佐東線の利用状況



■ DMV利用者の居住エリア・旅の目的



とくしまブリッジデータ

橋名	阿波しらさぎ大橋
形式	ケーブル橋
橋長	1,291m
有効幅員	25.5~29.5m
路線名	(注)徳島環状線
所在地(起点)	徳島市川内町
所在地(終点)	徳島市住吉6丁目
完成年	平成24年(2012)
管理者	徳島県

橋情報: 国際的な賞である英国構造技術者協会の「Huband Prize」のほか4つの賞を受賞しています。

こだわり技術: 「斜張橋」と「ケーブルラフト橋」の両特性を組み合わせた世界初の「ケーブル・ハイブリッド」形式を採用しています。

● とくしまブリッジカード

吉野川に架かる橋を
カードにしたコレクターズアイテム

- ※入手方法 (無料)
- ① 入手したいカードの橋を
デジカメ等で撮影
 - ② 撮影したデジカメ等を持って
配布場所へ移動
 - ③ 係の方に橋の番号か橋名を告げて
画面を提示
 - ④ 必要事項を記入して
とくしまブリッジカードをGet!

インフラツーリズム

【取組概要】

- 暮らしや安全を支えるインフラをはじめ、土木・近代化遺産、道の駅、日本風景街道等に合わせて、四国八十八箇所霊場に代表される観光施設などを巡ることにより、環瀬戸内海地域の新たな魅力を知ってもらい、一層の交流人口の拡大につなげる。
- モデルコースの設定、現地マップの作成、協議会HPや関係機関と連携し広く情報発信を行う。
- H28から香川県で試行、環瀬戸内海地域へ展開。今後は本四3橋を中心とし、民間主導のインフラツーリズムの構築を目指す。

【インフラツーリズムのイメージ】

●モデルコースの設定
●現地マップ作成
●協議会HP、関係機関と連携した情報発信

瀬戸大橋
道の駅
日本風景街道
四国八十八箇所霊場
土木遺産

H28 香川県で試行

環瀬戸内海地域において本四3橋を中心としたインフラツーリズムを展開！

【インフラツーリズムに関連する取組】

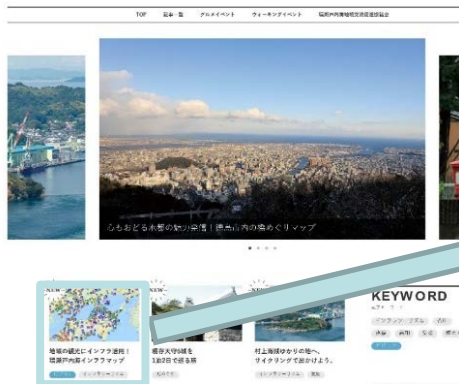
- 民間主導のインフラツーリズム構築(H30～)
- 例)旅行会社の企画するツアーに、インフラ施設を組込む

※イメージ例：瀬戸大橋スカイツアー

【これまでの取組み】

○環瀬戸インフラマップの作成

環瀬戸協議会HP「SETOUCHI JOURNAL」



・環瀬戸内海地域の各県において、ピックアップしたインフラ施設等（道路施設、土木遺産、寺社、SA・PA等）を、一つのマップ上にまとめて公開（R元年6月）

【昨年度及び今年度の取組み】

○県内外市町村等HPへの協議会HPのバナー掲載を依頼

R4.12月末までのインフラマップ記事へのアクセス数：10,610件
（R3.9時点から+2,554件）
（Topページ：207,463件（R3.9時点から+51,865件））

○HP（インフラツーリズム関連）の一部見直し

【次年度以降の取り組み】

今後更なる情報発信を図るため、Topページからインフラマップ記事へのアクセス数の向上策等について検討。

民間主体のインフラツーリズムの取組みの構築

【取組概要】

- 旅行業者の企画するツアーに、インフラ施設を素材として組んでもらえるよう取組む。
- 観光資源となりうるインフラ施設見学の情報を行政から旅行業者へ提供し、業者が主体となって観光ツアーの企画・催行ができるよう取組む。

【これまでの取組み】

- 全国の旅行業者にインフラ施設情報をツアー素材として紹介。
- 左記の収集した施設情報を、協議会HP内のインフラマップに追記（R2年1月）



【四国内インフラ施設紹介記事（四国ツーリズム創造機構「四国観光素材集2020」）】

【インフラマップに掲載した施設情報（例：香川用水記念公園）】

【昨年度の取組み】

- 旅行業協会に対するヒアリングの実施：ツアー企画しやすい観光素材等について意見交換を実施。
- 関係機関HPにおける協議会HPのバナー掲載の協力依頼
- インフラマップの掲載情報の更新に向けた取組み（インフラ施設情報の時点修正を関係機関に依頼）

【今年度の取組み】

- インフラマップの掲載情報の更新（完了）
- 旅行業者に対するインフラツーリズムのPR資料を作成し、（一社）香川県旅行業協会に依頼して協会HPに掲載

【次年度以降の取組み（予定）】

- 旅行業者に対する説明会、ヒアリング等の開催：インフラマップ・観光素材集等の情報周知、機会を捉えた説明会の開催等
- 旅行業者の企画・催行状況のモニタリング：環瀬戸インフラマップ、四国観光素材集等に対する旅行業者の反応、インフラツアー催行状況等

<香川県> 新たな目標にむけた情報発信・観光連携の取組事例

■ SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信

■ 観光客の周遊を促進する事業の実施

【令和4年度事業】

【新・うどん県泊まってかがわ割】

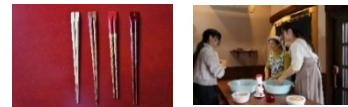
- 10月11日から全国を対象とした旅行支援事業（旅行代金の割引＋地域クーポン券を発行）を実施。
- 1月10日以降も国の制度見直しを踏まえ、3月31日まで継続して実施中。



【令和5年度事業】

【新しい観光スタイルの推進】（R4年度からの継続事業）

- OTA（オンライントラベルエージェント）と連携し、アウトドアや食、アートなどの地域資源を活用した体験コンテンツを造成し、販売。
- 体験コンテンツの販売を促進するため、利用料を最大半額とする割引キャンペーンを実施。



<体験コンテンツの例>

- ・漆塗り体験 プロの職人のレクチャーを受けながら、伝統工芸「後藤塗」でマイ箸づくりを体験。
- ・味噌づくり体験 創業明治2年の老舗麴屋で、讃岐味噌づくりを体験。

【デジタルマーケティングを活用した誘客促進】 （R4年度からの継続事業）

- デジタルマーケティングを活用したSNS広告配信などを実施し、閲覧者の興味や関心、ニーズを踏まえた効果的な情報発信により、誘客促進を図る。



【島へ行こうキャンペーン】（新規事業）

- 県民をはじめ多くの観光客に、多島美を誇る瀬戸内海の素晴らしさを改めて感じてもらい、島を訪れるきっかけづくりや島を含めた本県への誘客促進を図る。

【魅力発見ハッシュタグキャンペーン】（新規事業）

- 旅行者等に県内の魅力や感動をSNSに投稿してもらうキャンペーンを実施することで、全国に向けた情報発信を行う。

【瀬戸大橋開通35周年記念事業】（新規事業）

- 本四高速が開催する島旅フェスでの共催イベントや、「さかいで大橋まつり」と連携した花火大会を実施予定。

■ 瀬戸内海の「海」の魅力を発信

瀬戸内海国立公園ウォーク

【屋島ウォーク】

- 日本最初の国立公園となった屋島で、瀬戸内海の多島美を歩いて楽しみ、屋島の魅力を再発見するイベント。
- ・主催：香川県、高松市
- ・後援：環境省中国四国地方環境事務所、四国森林管理局
- ・協力：香川県里山ボランティアガイド組合、元気YASHIMAを創ろう会
- ・実績：R3年度（R4年3月13日(日)開催）
応募数188名（定員100名）、参加者86名
- ・次回：R5年3月12日(日)に実施予定



（画像はH31年のもの）

かがわ里海大学

【「海辺のおでかけマップ」ウォーキングツアー】

- 「海のおでかけマップ」掲載の海岸周辺で生き物観察やクリーンアップなどを通して海の環境について学べるツアー。
- ・主催：かがわ里海大学協議会
- ・対象：小学生と保護者
- ・実績：R4年12月3日(土)に沙弥島周辺で開催
参加者15名



■ 産業基盤の整備

【香川県企業誘致助成制度】

○投下固定資産額や新規常用雇用者数などの要件を満たす**工場、試験研究施設、物流拠点施設、情報処理関連施設、地方拠点強化施設**について助成を行い、企業誘致を促進。

【ワンストップサービス窓口】

- 工場等の建設を検討している企業に対して、工場用地や優遇制度の情報を提供。
- 立地に係る各種行政手続の相談窓口として、関係機関と関係を取りながら、手続きがスムーズに進むようサポート。
- 立地後の操業に当たっての課題等についての相談にも対応。

誘致事例 ～香川県坂出市番の州臨海工業団地の分譲～

香川県番の州臨海工業団地の残る約17haの未分譲地に、3社（ショーワグローブ(株)、(株)ハローズ、竜王金属(株)）による生産・物流拠点施設の立地が決定。これまでの総分譲面積は約505haで、企業数は大型工場や流通関係企業等あわせて42社。



<誘致効果>

- **投資・雇用面** 立地する3社の投資効果として、土地代に建物・機械設備費等を加えた**総投資額が約200億円**になり、3社による設備増設後も含めた雇用計画では、新たに**約370人の雇用**が創出される見込み。
- **産業インフラ面** これら拠点整備に伴い、工業用水や電気、ガスなどのインフラ面における大きな需要が見込まれ、3社で**年間28億円超の使用量**が見込まれる。
- **本四間の交流** 県外に本社を置くショーワグローブ(株)（兵庫県）と(株)ハローズ（広島県）の生産・物流拠点施設が整備されることにより、**本州・四国間での物流が活発化することが期待される。**

■ サテライトオフィス等の取組

【サテライトオフィス開設等への支援】

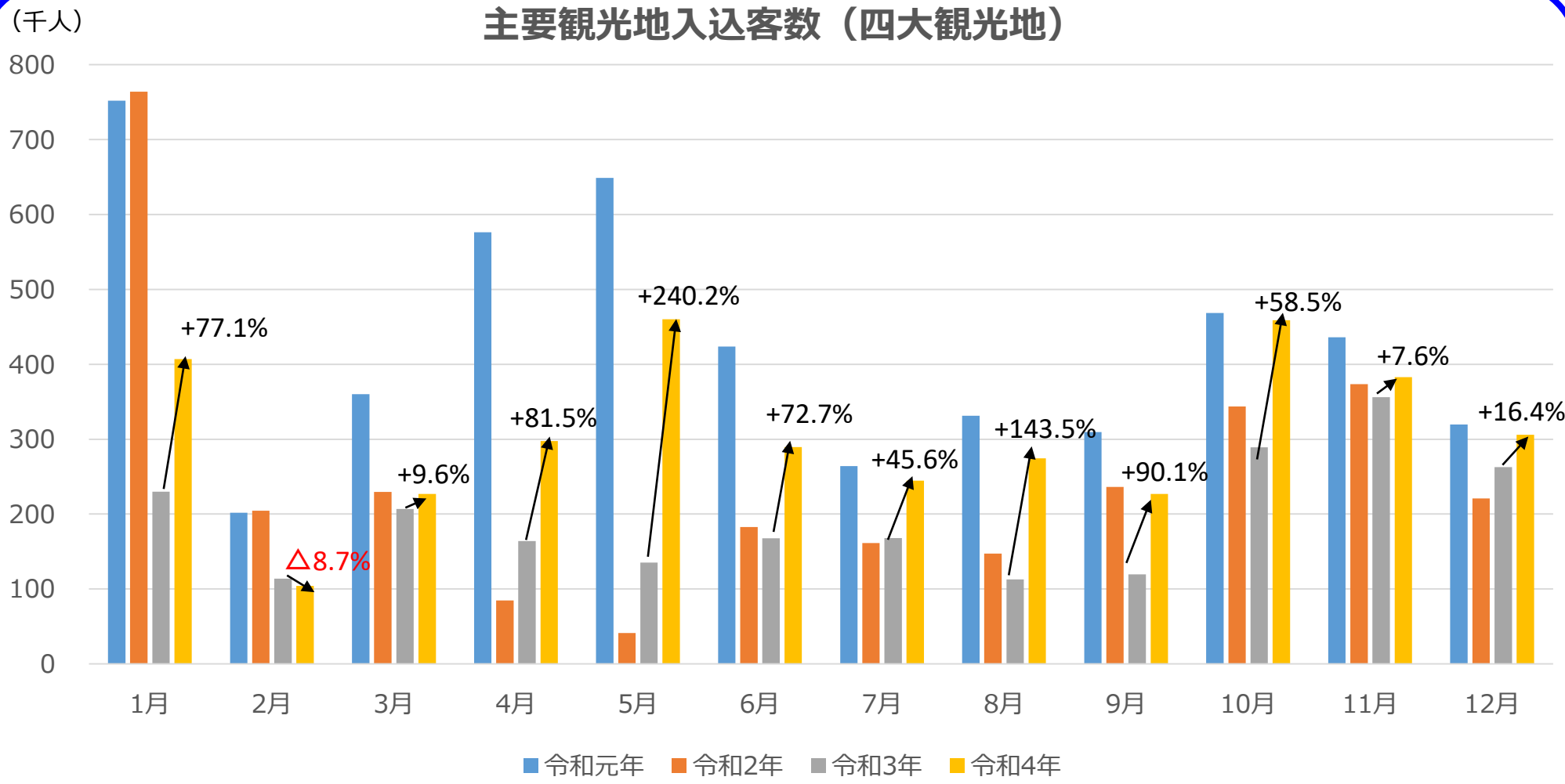
- 新しい生活様式や働き方の浸透、地方移住への関心の高まりを踏まえ、**県外から県内への企業の誘致及び移住の促進を図る**ため、香川でのサテライトオフィス等の開設を支援。

<支援概要>

- ① **サテライトオフィス**を開設する**県外事業者**に対して、**経費を補助**
- ② **事業所**として取得した**空き家**の**改修費**等に対して、**県内市町**が補助

<香川県> 県内主要観光地の観光客の状況

- 令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年より減少。
- 令和4年3月以降は、前年（令和3年）より増加。



※四大観光地：栗林公園、屋島、琴平、小豆島

瀬戸内国際芸術祭2022

瀬戸内国際芸術祭は、2010年にスタートした瀬戸内海の美しい島々を舞台とした現代アートの祭典です。3年に1度のトリエンナーレ形式で開催しており、令和4年は5回目の開催でした。

令和4年4月14日から11月6日まで、直島や豊島、小豆島など瀬戸内の12の島と高松港、宇野港周辺を会場に、春・夏・秋の各会期あわせて105日間の日程で開催し、213作品、19イベントが展開され、国内外から約72万人の方に御来場いただきました。

今回、コロナ禍での開催となりましたが、来場者全員の検温・体調確認を徹底する等対策を適切に行い、ウィズコロナの大規模イベント開催のモデルを示すことができました。

瀬戸内国際芸術祭は、「海の復権」と「島の元気」をテーマに掲げ、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し瀬戸内海が地球上のすべての地域の『希望の海』となることを目指して、開催しています。

【主催】

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

【会期】

春会期	4月14日	～	5月18日
夏会期	8月5日	～	9月4日
秋会期	9月29日	～	11月6日

【会場】

直島 / 豊島 / 女木島 / 男木島
 小豆島 / 大島 / 犬島
 沙弥島 [春のみ] / 本島 [秋のみ]
 高見島 [秋のみ] / 粟島 [秋のみ]
 伊吹島 [秋のみ]
 高松港周辺 / 宇野港周辺



瀬戸内国際芸術祭2022春会期の様子(女木島)
Photo: Shintaro Miyawaki



切腹ピストルズ「せっぷくぴすとるず瀬戸内神出鬼没」(高松港周辺)



眞壁陸二「漣の家」(男木島)
Photo: KIOKU Keizo



ヘザー・B・スワン+ノンダ・カザリディス
「海を夢見る人々の場所」(豊島)
Photo: KIOKU Keizo



瀬戸内国際芸術祭2022 Setouchi Triennale 2022

春会期:4月14日(木)～5月18日(水) 夏会期:8月5日(金)～9月4日(日) 秋会期:9月29日(木)～11月6日(日)
Spring: Apr 14th(Tue)～May 18th(Wed) Summer: Aug 5th(Fri)～Sep 4th(Sun) Autumn: Sep 29th(Tue)～Nov 6th(Sun)

会場:瀬戸内海の12の島、高松港、宇野港、栗島、伊吹島、高見島、沙弥島、小豆島、大島、犬島、直島、豊島、男木島、女木島
Website: www.setouchi.com 英語版: www.setouchi.com/en

<愛媛県> しまなみ海道エリアの交流人口拡大に向けた取組みについて

「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の策定



- 策定年月：2021年3月
- 推進期間：2021～2030年度までの10年間
- ビジョンの概要：

しまなみ海道エリアの魅力をもっと向上させるため、“目指すべき10年後の姿”を描き、県・市町、DMO、事業者等が、方針や政策を共有・実践するための基本となるもの。

→ 「しまなみ海道エリア」がサイクルツーリズムを中心とした世界ブランドとしての認知を獲得し、“地域が人を呼び、人が人を呼び”好循環を生み出すエリアへの発展に向けた取組みの方針・政策

- ◆ 3つの方針
 - 「誘客拡大・高付加価値化」
 - 「誘客効果の波及・経済活性化」
 - 「継続的な地域振興」
- ◆ 4つの政策
 - 「戦略的・政策横断的な振興政策」
 - 「観光産業集積・地域経済活性化に向けた政策」
 - 「持続可能なエリア振興と環境保全の両立」
 - 「エリアマネジメント組織の形成」

「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の実現に向けた主な取組み



サイクリングと体験型コンテンツを組み合わせた広域ツアー商品の造成等

「過年度の取組み」

- 来島海峡大橋桁外作業車体験 & 登頂ツアー、無人島満喫ツアー、シーカヤック、ヨットクルーズなど **32コンテンツの造成を支援**
- サイクリングと組み合わせた広域ツアー造成に向けて、FAMツアーや商談会を開催するなど、「販売体制の支援」にも注力

【4年度】広域ツアー商品の更なる造成等に向けた取組み

- 広域ツアー商品の造成：8ツアー
- モニターツアー：3回実施（1泊2日）
- 商談会：4回実施 **サイクルツーリズムのコーディネート機能も強化**

→ 5年度以降、地域DMO主導で事業者間ネットワークを生かし取組強化

「サイクリングしまなみ2022」の開催 R4.10.30

- 出走者数：6,371人（エントリー数：6,983人）
- ◎ 国内：46都道府県 ◎ 外国人：33か国・地域から180人
- 過去最多となる国・地域からご参加いただくなど、“サイクリストの聖地=しまなみ海道”を広く国内外に情報発信



「広域サイクルツーリズム圏域」の形成

「来島海峡大橋」を中心とする
半径50kmの本県エリア

「グレーターしまなみ・えひめ」圏域を形成
→ 圏域における**周遊促進・長期滞在化**

※国、自治体、本四高速、民間団体等で、実施主体となる「協議会」を構成（R5.3）

「4年度の主な取組み」

- スタンプラリー形式で自由に周遊する新しい自転車旅「しまひめライド」の設定
- 圏域設定宣言・セレモニー
- 「しまひめライド」プロモーションイベント など

「5年度の主な取組み」 ※想定

- 「しまひめライド」イベントの実施
- 各種プロモーション（機運醸成など）
- サイクリング環境整備 など

「姉妹橋協定」の締結

サイクリングを核とした
継続的な「**エリア間交流**」の推進

しまなみ海道を象徴する
「**来島海峡大橋**」

協定締結

サイクルツーリズムが盛んで、
自転車が行き交える
「**欧米豪の著名な橋**」

- 豪州・米国の著名橋を中心に、関係機関との協議を継続中。まずは1橋について、5年度中の締結を目指す。

<愛媛県> 交流促進に係る取り組み及び成果について

1. えひめ南予きずな博

- 開催期間：令和4年4月24日～令和4年12月25日
- 開催目的：南予地域の西日本豪雨災害からの創造的復興と、復興に支援頂いた全国の方への感謝を伝えるために開催
- イベント参加者数：延べ54万3,864人（オンライン参加者除く）
- イベント概要：
 - ・各種セレモニーイベントの開催
 - ・道の駅グルメスタンプラリーの開催
 - ・なんよBBQ“MEAT”ing/なんよBBQフェスティバルin松野
 - ・広域E-BIKEサイクリングモデルツアーの実施
 - ・観光列車「伊予灘ものがたり」の南予地域特別運行 等



【なんよBBQフェスティバルin松野】



【オープニングイベント】



【吉田秋祭り絆イベント】



【いがいなんよ大学inのむら】



【道の駅グルメスタンプラリー】



【伊予灘ものがたり特別運行】

2. 修学旅行誘致

修学旅行によるしまなみ海道自転車道利用促進事業（レンタサイクル費用助成）助成金交付

○概要：（1）令和4年度対象期間 令和4年4月8日～令和5年2月28日

（2）助成額

レンタサイクル代助成
小学生：250円/人
中学生以上：1,000円/人

加算

今治市内宿泊
500円/人

+

1団体最大
200,000円
助成

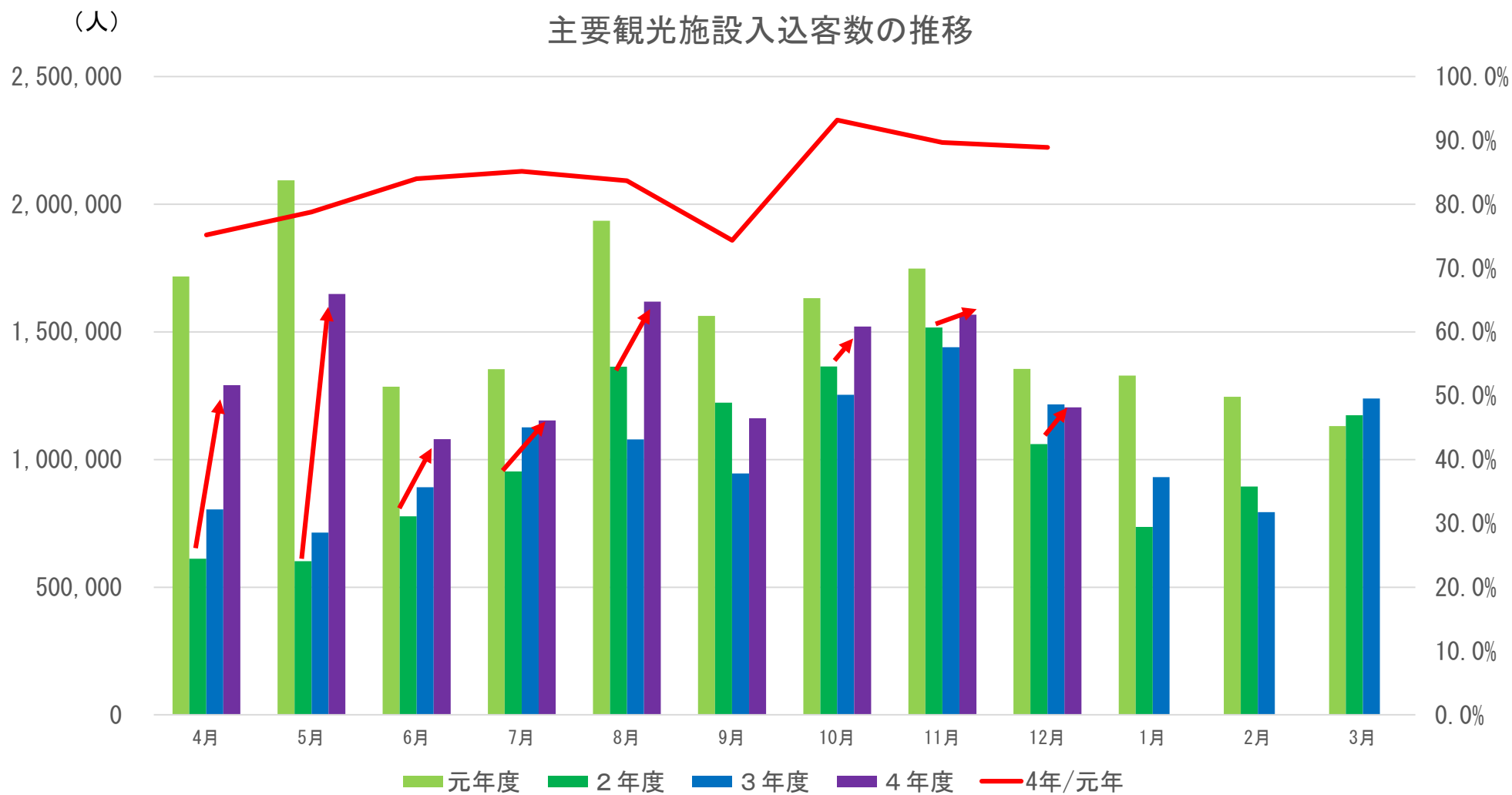
（3）事業主体

しまなみ海道自転車道利用促進協議会愛媛事業本部（構成員：愛媛県、今治市）

（4）利用状況 598名（令和5年2月28日時点）



主要観光施設入込客数の推移



1. 現状と目的

愛媛県は、東・中・南予の地域ごとに多様な産業が集積している地域特性を活かしながら、製造業を中心に企業誘致の取組みを進めているが、平坦部が少ないため**大規模用地の不足が顕在化**しており、企業の誘致及び流出防止に向けた**産業用地の確保が喫緊の課題**となっている。

そこで企業ニーズに合致する用地を確保し、**企業の新拠点整備による地域経済の活性化と雇用増加**を図るため、**市町が実施する産業用地開発に向けた調査事業への補助制度**をR2年度に創設し、県・市町が連携した誘致活動に取り組んでいる。

2. 事業内容

■ 産業用地可能性調査事業（R2年度～）

産業用地開発に向けて市町が行う各種調査に対する支援

項目	対象経費	補助率	補助限度額	活用実績
企業ニーズ等の検証	委託料	1/2	500万円 ※100万円から 引き上げ(R4年度～)	(R2年度) 大洲市
地権者調査				(R3年度) 東温市
地盤調査 等				(R3年度) 西予市 松前町 (R4年度) 東温市

■ 産業用地整備促進事業（R4年度～）

産業用地開発に付随して市町が実施する公共基盤施設の整備に対する支援

項目	対象経費	補助率	補助限度額	活用実績
・ 道路 ・ 排水施設 ・ 公園・緑地 等	委託料 工事費 用地取得費	1/2	1億円	(R4年度) 東温市

<高知県> 歴史的遺産のネットワーク構築とPRのネットワーク化

取組の概要

- 環瀬戸内海地域の現存する木造天守やその近隣の史跡などの歴史的遺産を巡るモデルルートを設定。
- 協議会HPやパンフレット等を活用したPRにより広く情報発信を行い、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。

令和元年度高知県作成パンフレット（抜粋）



環瀬戸内海地域の現存天守6城を巡る旅

日本の中で江戸時代までに建造された城のうち、天守が現存しているのはわずか12城。そのうち「環瀬戸内海地域」には、なんと6城が現存しています！ そのほかにも、現代において復元されながらも築城の時代を偲ばせる名城や史跡がたくさんあります。風光明媚な瀬戸内海を渡って、現存天守6城全てを巡り、約400年前の築城時代に思いを馳せてみては？

現存天守が残る城
 ●復元、復築、模範天守
 ●天守
 ●モデルコース①
 ●モデルコース②

モデルコース①

1日目 中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→播但連絡道路「花田IC」)＝**姫路城**＝(播但連絡道路→瀬戸中央自動車道→高松自動車道「取田IC」)＝**丸亀城**＝(高松自動車道→高知自動車道「高知IC」)＝高知市泊

2日目 宍泊地＝**高知城**＝(高知自動車道→徳島自動車道「徳島IC」)＝**徳島城跡**(徳島城博物館)＝(徳島自動車道→神戸淡路鳴門自動車道「瀬本IC」)＝**洲本城跡**＝(神戸淡路鳴門自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

モデルコース②

1日目 中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→岡山自動車道「賀露IC」)＝**備中松山城**＝(岡山自動車道→山陽自動車道「都山IC」)＝**備前山城**＝(西瀬戸自動車道「西瀬戸尾道IC」→今治北IC)＝**今治城**＝松山市泊

2日目 宍泊地＝**伊予松山城**＝(松山自動車道「松山IC」→宇和島道路「宇和島朝日IC」)＝**宇和島城**＝(宇和島道路→松山自動車道「大洲北只IC」)＝**大洲城**＝(松山自動車道「大洲IC」→瀬戸中央自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

※道路事情により、1泊2日はモデルコースのとおり滞れない場合がございます

環瀬戸内海地域の現存天守6城

姫路城(兵庫県)

●観覧時間：午前9時～午後5時(9月12日午後4時) 4/27～8/31(9月19日～午後6時) (9月12日午後5時)

●休城日：12月29日、30日

●料金：大人1,300円、小学生以下100円、300円

●HP：https://www.himeji-castle.jp/

●問合せ先：079-285-1146(姫路城総務課)

●駐車場：大宇陀駐車場(無料ほか)

●アクセス：備前自動車道(高松IC)から約15分
電線/バス(中瀬川)から約15分

奈良の法隆寺とともに日本初の世界遺産に登録された姫路城。白漆喰で塗られた白壁(白鷺城)の名で親しまれ、シラサギが羽を広げたような優雅な姿で街を囲み上っている。現在の姫路城は、慶長14(1609)年に築城されたものであるが、平成21年度から26年度まで、姫路城天守修復修繕事業(平成の修理)にて改修が行われ、建築時の美しい姿が再現されている。

●立ち寄りスポット：姫路城西園歴史館・森園好古園・兵庫県立歴史博物館

丸亀城(香川県)

●観覧時間：午前9時～午後4時30分 (丸亀は午後4時まで)

●休城日：無休

●料金：大人200円、小学生以下100円

●問合せ先：0877-22-0331(丸亀市観光課)

●HP：https://www.marugame-castle.jp/

●駐車場：丸亀城内資料館前(無料ほか)

●アクセス：高松自動車道、徳島自動車道から約20分

高さ日本一の石垣に鎮座して約400年の歴史を刻む丸亀城。内閣から天守に於いて4層に積み重ねられた石垣は、約60メートルと日本一の高さを誇り、「石垣の宝」と呼ばれる特異的で美しい曲線を描く。近世城郭は豊臣秀吉政権下に建築し、15万石を与えられた生駒親正が慶長2(1597)年、高松城の支城として築城を開始した。築城の思と鮮やかなコントラストを奏でる白壁の天守は、全国でも珍しい丸亀天守である。

●立ち寄りスポット：丸亀市立資料館・中津乃童園

宇和島城(愛媛県)

●観覧時間：3月～10月 午前9時～午後5時 11月～2月 午前9時～午後4時

●休城日：無休

●料金：大人200円、小学生以下無料

●問合せ先：0995-45-7032 (宇和島市文化スポーツ課)

●HP：http://www.city.uwajima.jp/site/uwajima/oujushiro.html

●駐車場：新山下駐車場(有料)

●アクセス：一般道約1600m(宇和島道路 宇和島朝日IC)から車で約14分

宇和島湾に面した場所に不等辺五角形の絶壁で築かれた宇和島城は、当時築城の名手と名高かった豊後高松により築城された築城であった。巨大な石垣を横目に急な石段を登って行く。山頂には当時のままの三層三門の天守が建ち並ぶ。天守内側は木の柱のむき出し、宇和島城と宇和島の垣根を一望できる。

●立ち寄りスポット：伊達博物館・天教園・和霊神社

備中松山城(岡山県)

●観覧時間：4月～9月 午前9時～午後5時30分 10月～3月 午前9時～午後4時30分

●休城日：12月29日～1月3日

●料金：大人500円、小学生以下250円

●HP：http://www.bichu-matsuyama-jyo.jp/

●駐車場：城跡駐車場(無料)

※休城日には、駐車場から無料のシャトルバス運行

●問合せ先：0866-22-1487(管理事務所) 0797-767-1100(山陽自動車道 高松IC)から車で20分

標高430mの山頂上付近に立つ天守は国の重要文化財で、天守を待たずしては唯一であり、「日本三大丸山城」にも数えられる。徳川時代、秋庭重隆が本松山に城を築いたのを築城といわれ、天和3(1683)年に水谷孫三郎によって3層がかりで修築され、今の天守の姿となった。白漆喰塗りの城壁と黒い龍巻のコントラストが空の青に映える美しい天守。大手門横切道は、高さ10m以上の巨大な岩壁がそびえ、石には仔細の本木が狂草し朱塗に覆われる異色は任務、また雲海に浮かぶ幻想的な姿から天守の山城と呼ばれている。

●立ち寄りスポット：朝久史蹟園(旧若井家・旧徳川邸) 土庫資料館

伊予松山城(愛媛県)

●観覧時間：2月～7月 午前9時～午後5時 8月 午前9時～午後5時30分 9月～11月 午前9時～午後5時 12月～1月 午前9時～午後4時30分

●休城日：12月30日

●料金：大人500円、小学生以下160円

●問合せ先：089-921-4873(松山観光振興局)

●HP：http://www.city.matsuyama.jp/

●駐車場：松山城跡駐車場(無料)

●アクセス：松山自動車道、松山ICから車で約20分

日本で最後の完全な城郭建築(松山文化様式)として、21棟の建造物が国の重要文化財に指定。大天守、小天守、兩層を巨匠に結び、武門に似せた天守建造物群は「日本三大立派な丸山城」に数えられる。司馬遷太郎「城の上の雲」に於て文学都市松山の雄姿と描かれるなど、松山市のシンボルとして親しまれている。

●立ち寄りスポット：二ノ丸史蹟園・運後温泉本館・真蔵荘

【主な取組み】

- ・協議会・各城HPやイベント会場等での情報発信

高知城HP

来島海峡SA

【取組み成果】 高知城利用実績 (1月～11月)

(単位：千人)

R元年 288 (60%減) R2年 115 R3年 97 R4年 188 (94%増)

R元年比 約7割まで回復

※出典：高知県観光政策課

取組概要

○高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」では、大自然を体感するアクティビティをはじめ、地元の人とふれあいながら楽しむことができる体験をしたり、幕末から明治維新の歴史文化探訪で偉人たちの足跡を辿りながら本物の資料を鑑賞したり、大自然の恵みを存分に受けた食資源に舌鼓を打ったりと、訪れる人それぞれが魅力的な新しい休日を堪能することができる。

■リョーマ(RYOMA)の休日とは

Roman(ロマン)

テーマ: 歴史や自然から土佐のパワーを感じる



室戸世界ジオパーク

- 歴史文化施設の企画展
(歴史民俗資料館や坂本龍馬記念館の30周年特別企画等)
- ジオパークをめぐるガイドツアー
(室戸世界ジオパーク、土佐清水ジオパーク)

Yasuragi(やすらぎ)

テーマ: 自然の優しさが癒しの時間をくれる



ワーケーションキックオフイベント

土佐清水市

- 清流での溪流ガイドツアーやラフティング
(中津渓谷、安居渓谷等)
- 大自然のもとでのワーケーション
(室戸市、土佐清水市)
- 穏やかな海辺や川のほとりでのキャンプ

Oishii(おいしい)

テーマ: 絶対の自信! 土佐の幸を食べつくす



カツオのたたき

- 「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」ランキングにおいて11年間で6度の日本一に輝いた自慢の食文化
(カツオのたたき、生産量日本一のゆずやしょうが)

Manabi(学び)

テーマ: 世界が認めた自然遺産・文化に学ぶ



県立・足摺海洋館「SATOUMI」

- 海と自然のアドベンチャーミュージアム
足摺海洋館「SATOUMI」
- 日本遺産認定の中芸森林鉄道
- 世界にも通用する四国遍路
- 高知ならではの伝統文化体験

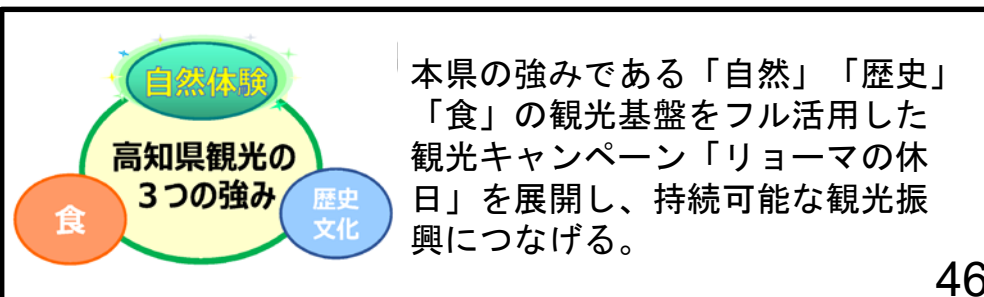
Active(アクティブ)

テーマ: 土佐の自然と全身でたわむれる

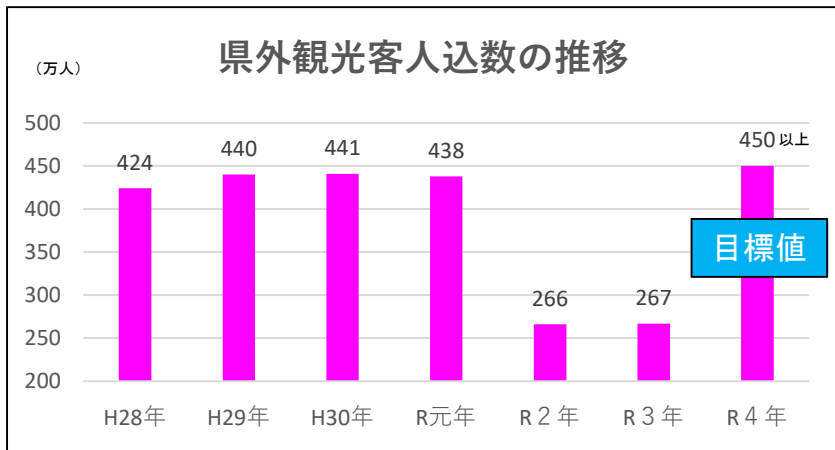


四万十川カヌー体験

- 高知の自然とたわむれるアクティビティ
(カヌー、ダイビング、ジップライン等)
- 清流での渓谷ガイドツアーやラフティング
(中津渓谷、安居渓谷等)
- 山、川、海の絶景ドライブ

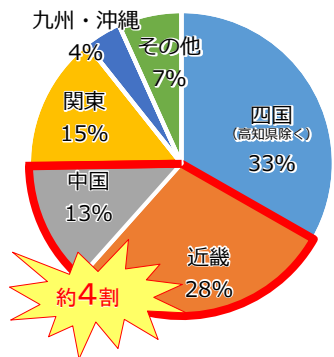


■ 県外観光客入込数の推移



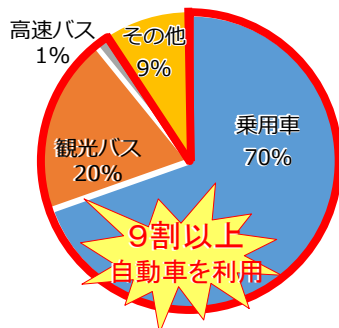
※出典：R3 県外観光客入込・動態調査報告書（速報値）
第4期産業振興計画ver.3

■ 発地ブロック別入込割合



※出典：R3 県外観光客入込・動態調査報告書

■ 県外観光客の利用交通機関割合



※出典：R3 県外観光客入込・動態調査報告書

- ・県外観光客の約4割が中国・近畿地方であり、**環瀬戸内海地域間の交流が促進**。
- ・県外観光客の**9割以上が自動車を利用**。
- ・交流人口のさらなる拡大には、**本四高速の現行料金水準維持が重要**。

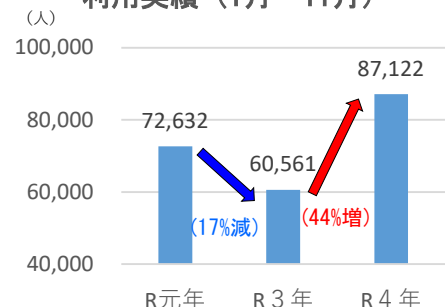
■ 観光施設利用実績(1月～11月)

○北川村「モネの庭」マルモッタン

R2年5月「ボルディゲラの庭」新設



利用実績 (1月～11月)



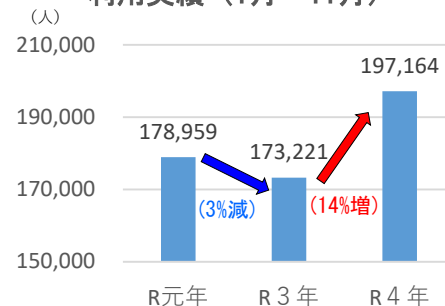
※出典：高知県観光コンベンション協会資料

- ・フランスの画家、クロード・モネが愛した、フランス・ジヴェルニーの庭をモデルとして平成12年4月に開園。
- ・本場フランスのクロード・モネ財団より、世界で唯一「モネの庭」と名乗ることが許されている庭園。
- ・R4の施設利用者は**コロナ前(R元)以上に回復**。

○高知県立のいち動物公園



利用実績 (1月～11月)



※出典：高知県観光コンベンション協会資料

- ・広々とした自然に近い公園の中で動物たちとの触れ合いの時間を提供。
- ・公園内では、動物たちの生息地に近い環境を再現し、約110種類、1500頭の動物に出会える。
- ・R4の施設利用者は**コロナ前(R元)以上に回復**。

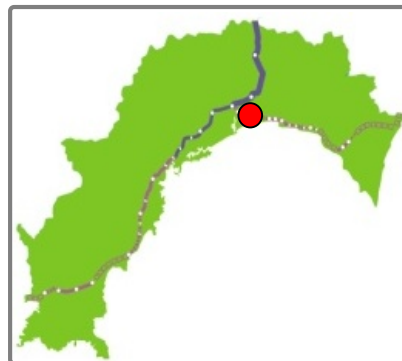
<高知県>産業基盤の整備【なんごく流通団地】

1. 施策

【名称】なんごく流通団地

【概要】

- ・所在地：高知県南国市三和琴平
- ・総面積：約29.1ha
- ・分譲面積：約19.2ha
- ・区画数：46区画
- ・対象業種：流通業（運輸業、倉庫業、卸売業及び流通加工業）
- ・分譲状況：完売（リース含む）



2. 誘致効果

○企業数 25社

主な誘致企業

- ・日本通運株式会社 高知支店（輸送業）
- ・四国名鉄運輸株式会社 高知支店（輸送業）
- ・株式会社朝日通商 高知営業所（流通加工業）
- ・土佐倉庫株式会社（倉庫業）
- ・株式会社精工 高知工場（製造業）
- ・株式会社ヨコハマタイヤジャパン 高知営業所（卸売業）

○雇用従業員数 962人

■本四間の交流について

高知新港や高知龍馬空港、高知東部自動車道のなんごく南ICの近接に整備。大手運送会社や流通加工業を中心とした企業が立地しており、物流を中心とした本州・四国間の交流促進に貢献している。



高速道路へのアクセス

- ・高知東部自動車道 なんごく南ICまで約5Km（車で8分）
- ・高知自動車道 南国ICまで約13km（車で20分）

<高知県>産業基盤の整備【高知新港高台用地】

1. 誘致施策

【名称】高知新港高台用地

【概要】

- ・所在地：高知県高知市仁井田
- ・対象面積：約27,800m²
- ・対象業種：製造業、流通業、食品加工業等

【優遇制度】

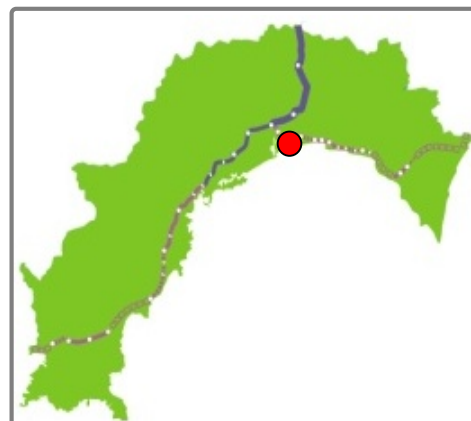
- ・高知県
企業立地補助制度
- ・高知市
土地及び設備投資に対する助成

2. 誘致効果

- 第1期公募地
 - ・契約状況等：令和5年3月操業開始予定
 - ・雇用従業員数：30人
- 第2期公募地
 - ・契約状況等：令和5年7月操業開始予定
 - ・雇用従業員数：35人

■本四間の交流について

高知東部自動車道の高知南ICから約3kmの高知新港の近接に整備。物流を中心とした本州・四国間の交流促進に貢献している。





らんまんの舞台・高知

牧野博士の 新休日

Dr. Makino's New Holiday in KOCHI

高知県立牧野植物園や牧野富太郎のふるさと
佐川町、越知町を中心に、県全域で博覧会事業を展開！

プレ博覧会：令和5年2月4日(土)～3月19日(日)

博覧会期間：令和5年3月25日(土)～令和6年3月31日(日)

牧野博士のふるさと、主な活動地域

拠点となる
エリア

メインエリア(集客機能)

県立牧野植物園(高知市)

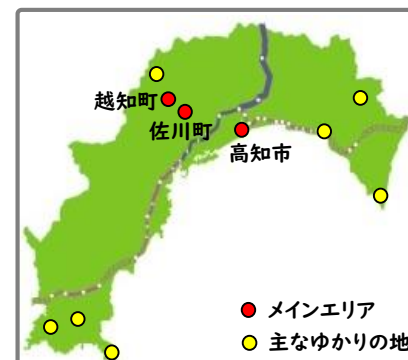
牧野博士のふるさと(佐川町)

横倉山周辺(越知町)

インフォメーション(案内機能)

こうち旅広場(高知市)

桂浜公園(高知市)



県内各地へ送り出し

牧野博士ゆかりの地やネイチャー系スポット(草花)

草花体感
フィールド

四季折々の草花&花
イベント

牧野富太郎ゆかりの地

草花を体感できる
スポット

地域の核となる施設や食資源等

地域への
周遊・滞在
コンテンツ群

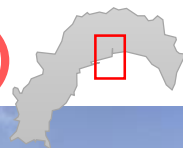
歴史らんまん
(歴史文化施設)

自然らんまん
(自然・体験)

食らんまん
(高知グルメ)

拠点
エリア

高知県立牧野植物園（高知市）



～温室や展示館など屋内外で楽しめる～

日本有数の植物園

四季折々、
3000種類以上が彩る

野生ツツジ
コレクション
3月末～5月GW



ケシ、ガンゼキランなど
牧野ならではの貴重な植物



トビカズラの
大群落
4月～5月GW



南園に「新研究棟」
2023年春OPEN予定!

研究の見学スペースや、キッズラボも登場。
南園の景色が見える眺望抜群のレストランもお楽しみに!

新研究棟レストラン
内観イメージ

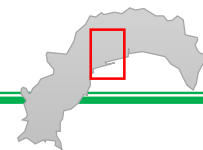


レストランからの夜景
(南園春の様子)



拠点
エリア

牧野博士のふるさと 佐川町 ①



牧野富太郎ふるさと館

牧野富太郎の生家跡地に建つ資料館

展示室では博士の遺品や直筆の手紙、原稿等の貴重な品を展示。



建設中! まきのさんの道の駅

佐川町に新たな道の駅が建設中!
観光情報の発信や売店、レストランだけでなく、
木のおもちゃで遊ぶことのできる木育交流施設「さかわ
木のおもちゃ美術館」も併設予定!!



まきのさんの道の駅
外観イメージ



木のおもちゃ美術館
内観イメージ

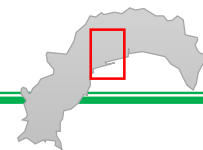
さかわ・酒ぶら上町歩き～筆頭家老の城下町～

佐川町・上町とその近辺は司牡丹酒造の酒蔵が立ち並び、歴史を感じさせる落ち着いた佇まい。
熟練のガイドが周辺の観光スポットをご案内。



拠点
エリア

牧野博士のふるさと 佐川町 ②



牧野公園 約400種類の牧野博士ゆかりの山野草を中心に、
500種類以上の植物が楽しめる公園



佐川町立青山文庫

幕末維新の生き証人であった、佐川町出身の元宮内大臣田中光顕(みつあき)が収集した志士たちの書状や画などの遺墨コレクションを中核に、主に近世・近代の歴史資料を収蔵。博覧会期間中は、牧野富太郎特別企画展を開催!



牧野博士が愛した“バイカオウレン”

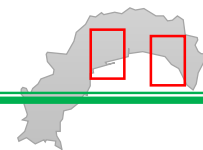


歩きやすく整備された公園内は、草花の紹介プレートもあり、全ての草花を愛した牧野博士の想いがボランティアによって受け継がれている。



拠点
エリア

牧野博士のふるさと 越知町 ほか

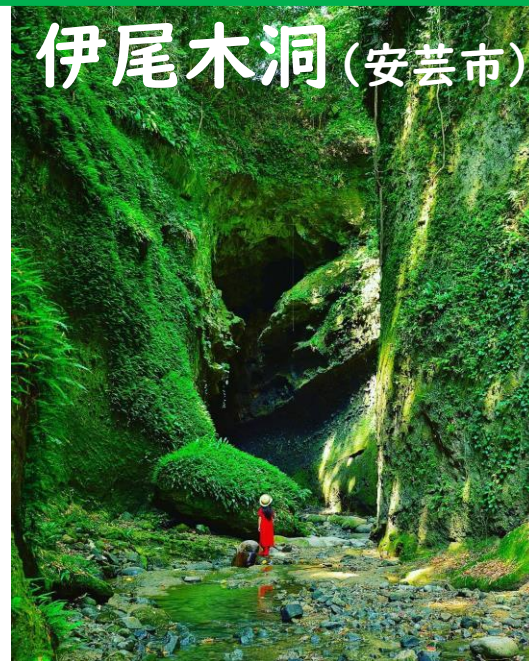


横倉山自然の森博物館 (越知町)



県内唯一の安藤忠雄氏の建築。牧野富太郎の植物スケッチや横倉山産の化石などを展示。本物の化石や隕石に触れられる体験コーナーも人気。

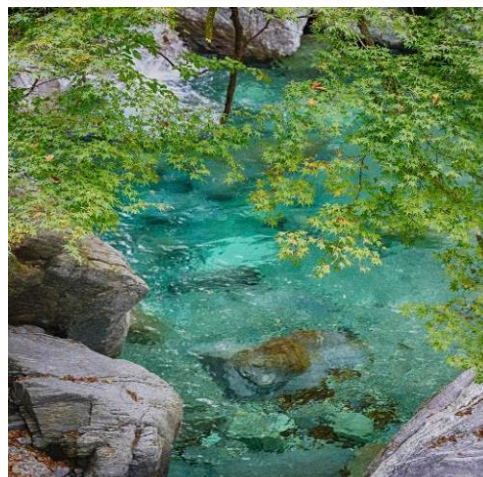
伊尾木洞 (安芸市)



国の天然記念物に指定されているシダ群落と、約300万年前に堆積した地層からなる神秘的な洞窟。牧野富太郎も何度か採集に訪れた。



近隣の「仁淀ブルースポット」



近くには映画「竜とそばかすの姫」の舞台となったスポットも!

<本四高速> 地域連携の取り組みについての成果と今後の取り組み

1. インフラツアーの更なる推進

(1) インフラツアー

長大橋を活用した瀬戸内地域の魅力発信や地域活性化を目的として、個人・団体を対象とした明石海峡大橋の“ブリッジワールド”、瀬戸大橋の“スカイツアー”等を実施

旅行会社主催ツアーと共に、4月23日より、明石海峡大橋及び瀬戸大橋において、個人募集型のツアーを3年ぶりに再開

※ 今年度は昨年度開催実績の約6.1倍(60回→367回)増加

※2022年度開催実績

ツアー開催回数 367回 (2021年度: 60回)

－橋別内訳－

明石海峡大橋 BW 217回 [催行率80.4%]

瀬戸大橋 S T 108回 [催行率79.4%]

その他 42回



明石海峡大橋ブリッジワールド



瀬戸大橋スカイツアー

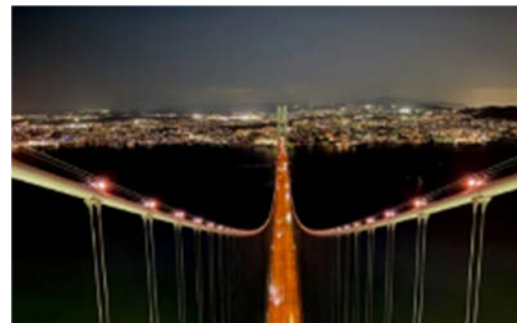
来年度は、実施期間の延長、定員の増員等を行い実施

(2) 企画提案型ツアー

地域活性化の向上を目的とし、ナイトツアーやアンカレイジツアーなど、インフラツアーの新たな魅力創出のためにモニターツアーを実施。また、瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値が高いツアーを実施するため、企画提案型ツアーを実施した

※ 6事業者7ツアー: 計221名

来年度も企画提案型ツアーを募集予定



明石海峡大橋ナイトツアー



瀬戸大橋アンカレイジツアー 56

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点としてSA・PAを最大限活用

(1)「せとうち魅力発見」キャンペーン

SA・PAを拠点とした「せとうち魅力発見」キャンペーンをスタートし、春のスイーツフェアでは地元のスイーツ店32店舗がSA・PAに出店し、2日間で約4,800人を集客
夏以降は地域の飲食店も参加可能なスタンプラリー形式でイベントを展開し、夏の「麺フェスタ」は、114店舗、秋の「丼まつり」は、189店舗が参加



スイーツフェア (来島海峡SA)



せとうち麺ラリー (114店舗)



せとうち麺フェスタ



せとうち丼まつり

(2)「地域マルシェ」等の開催

9月には地域の窯元がSA・PAで焼き物(丹波焼、備前焼、砥部焼等)を販売する「せとうち焼きもの市」(27個人・団体)、10月には沿線地域の商工会議所や農協、観光協会や青年会議所等各種団体や企業等と連携した「せとうちマルシェ」(52団体)を開催し、特産品をテーマに瀬戸内の魅力を発信した。



備前焼即売会 (与島PA)



せとうちマルシェ (淡路SA)



せとうち焼きもの市



せとうちマルシェ

3. 島旅の活性化

圧倒的な多島美を有しながら、沖縄・奄美、伊豆諸島などと比較して印象が薄い瀬戸内地域の「島旅」について、特に「塩飽諸島」の目的地化を目指し、景観や歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化への取り組み

(1) 瀬戸内島旅活性化研究会

行政、観光関係者、島民等が参加する「瀬戸内島旅活性化研究会」を7月4日に開催し、塩飽諸島の地域資源を活かした島々の周遊ツアーの造成に取り組むこととし、ツアー造成に向けたファミツアーを実施。



瀬戸内島旅活性化研究会



アクティブシニア
ツアー (4/23.24)



親子ファミツアー
(5/28.29)

(2) せとうち島旅フェス

「せとうち島旅フェス2022」(R4.5.14~15)を与島PAで開催

2日間で約15,000名の立寄があり、葉加瀬太郎氏のミニライブも実施

「せとうち島旅フェス2023」を2023年5月に開催すべく、関係機関と調整中



ステージ前の様子

(3) せとうち島塾

さぬき広島において、クリーンウォーク・ビーチコーミング等を通じて島の方々と交流し、SDGsの取組を行う「せとうち島塾」を3回実施

第3回は企業研修として、四国運輸局、中国四国農政局等行政機関、ジャンボフェリー(株)、(株)あなぶきトラベル等民間企業が(塾生23名)となり実施

来年度も社内研修・企業研修として実施予定



クリーンウォーク (登山道清掃)



ビーチコーミング (海ごみ調査)

4. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

瀬戸内地域に存する美術館・博物館81施設のネットワーク(「せとうち美術館ネットワーク」平成20年スタート、本四高速が事務局)のつながりを深化、発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献

(1) ネットワークの新たな展開

①「せとうちアート通信」の発刊

参加施設の特別展・企画展のチラシ・ポスターと本四高速の地域連携の取組を紹介したタブロイドペーパーを年4回発行

※創刊号が日本地域情報コンテンツ大賞「タブロイド部門」最優秀賞を受賞



②せとうちアートセミナーの実施

せとうち美術館ネットワークの事業の一環である「ネットワークを活用した美術教育に資する事業」として、「瀬戸内から世界へ、世界から瀬戸内へ」をテーマとし、岡山市芸術祭と連携して岡山市内にて3回の講演会を開催



③せとうちアートツアーの企画

平山郁夫美術館の館長がコーディネート及びアテンドを行うツアーを造成

平山郁夫生家訪問や「AZUMI」宿泊等、富裕層向けの商品として販売



(2) せとうち美術館サミット

11月には、ネットワークに参加する美術館・博物館が一堂に会し、相互交流や情報交換等を行う「せとうち美術館サミット」を開催し、ネットワークの活用による地域活性化を図っている。

5. 瀬戸内地域のサイクリングルートネットワーク化の推進（協議会の設立とサミットの開催）

しまなみ海道や淡路島一周（「あわいち」）、四国一周など、瀬戸内地域に存するサイクリングルートネットワーク化し、サイクリングを通じて地域の魅力を国内外に発信

(1) Setouchi Vélo協議会の設立

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2022」の開催に合わせ、Setouchi Vélo 来島海峡会議及び協議会設立総会を開催。協議会設立総会には、協議会構成する20団体と参加団体（市町等）10団体が参加し世界に誇るサイクリングルートを有する瀬戸内地域を国内外に向けて発信。来年度は香川県にて開催を予定。



(2) Setouchi Véloの活動計画について

①サイクリングルートのネットワーク化

来年度の協議会において、トライアルライドの実施、有識者意見交換会等実施し、複数県にまたがる新たなルートの設定を行う。



②サイクリングの推進エリア化

サイクリング環境の向上を図るとともに、e-bikeの普及・促進を目的とした構成員及び有識者等によるトライアルライドを、4回を実施。来年度は10回から15回の実施を予定しており、Setouchi Véloスポットの登録や新たな県跨ぎルートの設定など様々な活動に役立てることとする。

③国内外への情報発信

1月にSetouchi Véloマップを発行し、75,000部を配布。3月には、Setouchi Vélo webサイトの本格運用を開始予定。国外へは、せとうちDMOと連携した地域の認知度向上に向けた欧米豪市場への情報発信や海外向け情報発信の検討を行う。また、必要に応じ、メディア向けキャラバンや海外調査の実施も検討。

6. せとうち魅力発見会議の開催（多様なパートナーとの連携）

各ルート（神戸淡路鳴門、瀬戸大橋、しまなみ海道）別に開催していた周遊観光ワークショップを統合し、瀬戸内地域の地域活性化等について、有識者、民間事業者、DMO・観光協会等と議論することを目的として開催

日時：2023年2月3日（金） 14:00～17:00

場所：ANAクラウンプラザホテル神戸 10F「ザ・ボールルーム」

出席者：有識者、民間事業者、DMO・観光協会等、行政機関、自治体（51機関）

議事次第：

1. 開会・主催者挨拶

2. コーディネーター挨拶

地球の歩き方総合研究所 事務局長 弓削 貴久氏

3. 議題

【第1部】 ルート別・合同ワークショップ

・当社の地域連携の取組や各参加機関から地域活性化の取組について説明を行い、それぞれの取組について議論を行うとともに、各地域の地域活性化の取組を共有。

【第2部】 せとうち観光の現状について

・当社からせとうち地域の現状について資料に基づき説明。課題として、
①コアとなる観光施設がない。②せとうち地域を統括する企業・団体が少ない。③情報発信力の不足。

⇒せとうち地域が一体となって連携することにより、「せとうち」のブランディングを仕掛け、せとうち地域の活性化に取り組んでいくことが必要との認識で一致。

4. 閉会



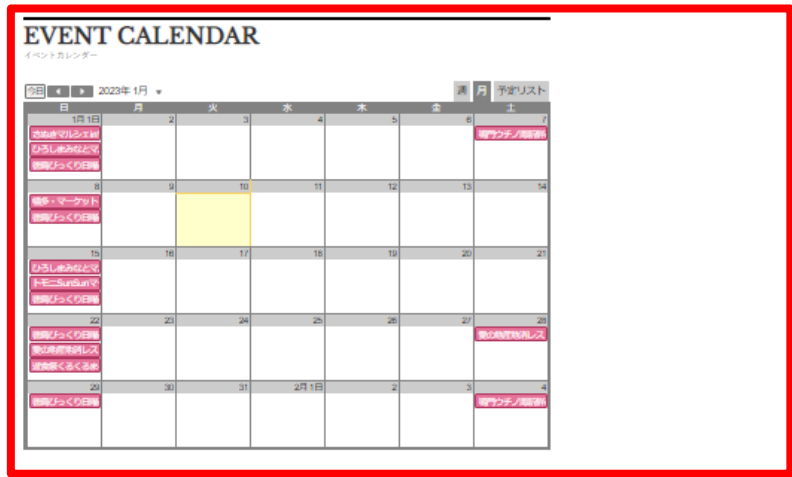
【環瀬戸HPの現状と課題】

○現状（環瀬戸HPのTOPページ（R5.1.10時点））



池公園の土曜市 高知オーガニックマーケット（高知県・高知市）

① イベントカレンダー



② 記事一覧 （主に瀬戸マーレ）

KEYWORD

四国八十八景プロジェクト
 オンラインツアー企画 企画
 岡山 広島 徳島 香川
 高知 愛媛 福岡 徳島
 四国 観光 地域づくり
 グループ

③ 環瀬戸の取り組み



○課題

- ① イベントカレンダーによるイベント情報を掲載しているが、各団体の連携が視覚的に見えにくい。
⇒ **各団体の横連携が見えるイベント情報のビジュアル化**
- ② HPの更新頻度が低く、アクセス向上につなげていない
（現状：4回／年の瀬戸マーレに掲載された記事の更新と、2回／年の協議会資料のアップ）
⇒ **記事充実によるHP更新頻度のアップ**
- ③ 環瀬戸HPの位置付けがTOP画面で分からない。
⇒ 環瀬戸HPの位置付けの明確化

【環瀬戸HPのリニューアル（案）】

○各団体が取り組んでいる季節毎の観光イベント情報を掲載し、周遊観光に繋がるように見直し。



春 イベント

岡山県 笠岡海岸花火大会 笠岡の真夏
笠岡海岸花火大会の会期 笠岡の真夏
2022年4月7日(土)～6月16日(日)

広島県 中国道中継車中
かよひ風土記の5周年記念の春の
祭典会 2022年4月22日(日)～6月12日
(日)

愛媛県 志度島島民まつり
志度島島民まつり(2022年4月22日～6月12日)
西予市志度島の伊予半島(約30分)に
あるからんまつり。09月～

高知県 高知市立中央公園
高知市立中央公園(2022年4月22日～6月12日)
高知市立中央公園(2022年4月22日～6月12日)

	3月	4月	5月	6月
兵庫県	0000 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00
岡山県	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00
広島県	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00
徳島県	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00
香川県	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00
愛媛県	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00
高知県	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00	0000 イベント 00:00～00:00

①観光イベント情報のビジュアル化
・観光イベント情報
・マップ
・カレンダー

②記事充実によるHP更新頻度のアップ
・観光イベントの記事化

観光イベントの記事の掲載（例）



えひめ南予 きずな博 (愛媛県・南予9市)

2022.12.23

イベント 変更

2022年(令和4年)4月24日(日)～12月25日(日)

会場 愛媛県南予9市町(宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町)



えひめ南予
きずな博

きずな博とは・・・
何気なく交わす会話、小さな交流のひとつ。そのささやかな幸せに気づいた今だからこそほんとうの豊かさや、あたたかさは何かを実感したい。すべての出会いは、一生の絆につながる。

わたしたちは「えひめシフト!!!」を掲げおもてなしの心、感謝の想いを形にしためいっばいの魅力と人をつなぐ体験を準備して新しい絆が生まれる瞬間を応援していきます。

名もなき一日も、いとおいしい。そんな時間の流れるえひめへ。南予の地で、あなたを待っています。

きずな博 公式ホームページ



愛媛県の取り組み

③環瀬戸HPの位置付けを追加
環瀬戸内海地域の関係者が一体となって、様々な分野で交流を促進するため、情報発信を行うサイトです。

環瀬戸内海地域の関係者が一体となって、様々な分野での交流を促進するため、情報発信を行うサイトです。

【環瀬戸HPのリニューアル（案）】：①観光イベント情報のビジュアル化

①観光イベント情報のビジュアル化（観光イベント情報、マップ、カレンダー）

かんせと

春

イベント

岡山県 旧野崎家住宅 福山の美術

旧野崎家住宅の春の企画展 福山の美術
2022年4月7日(木)～6月16日(木)

兵庫県 お花見お団子フェス

○○○○○○○○○○○○○○○
2022年4月00日(○)～4月00日(○)

広島県 中国道中経菓毛

みよし風土記の庄ミュージアムの春の
展示会 2022年4月22日～6月12日

香川県 栗林公園ライトアップ

○○○○○○○○○○○○○○○
2022年4月00日(○)～4月00日(○)

愛媛県 お花見お団子フェス

西予市宇和町の伊予石城駅から徒歩3分
にあるわらマンモスアート。00月～

徳島県 縁須賀まつり阿波踊り

誰もが自由楽しめる阿波踊りを楽しむ
お祭り 2022年4月3日(木)00時～

高知県 四万十川とキャンプの道

四万十川で遊ぶカヌー体験。通年実施。

3月～6月 03/15 時点

	3月	4月	5月	6月
兵庫県		○○○博 00/00～00/00	○○○キャンペーン 00/00～00/00	
岡山県		○○○まつり 00/00～00/00		○○○イベント 00/00～00/00
広島県			GWフェス 00/00～00/00	
徳島県		さくらまつり 00/00～00/00	○○○まつり 00/00～00/00	
香川県		○○○まつり 00/00～00/00		○○○イベント 00/00～00/00
愛媛県		○○○まつり 00/00～00/00		○○イベント 00/00～00/00
高知県		○○○フェス 00/00～00/00		

- 【TOPページの更新（案）】**
- 環瀬戸の季節毎の観光イベントを **ビジュアル化した情報**をTOPに追加
(イベントをクリックすると、当該イベント記事ページに移動)
 - 更新頻度 4回/年以上
 - 更新時期
 - 春 3月 (3～6月イベント掲載)
 - 夏 6月 (6～9月イベント掲載)
 - 秋 9月 (9～12月イベント掲載)
 - 冬 12月 (12～3月イベント掲載)
 - 【各団体への依頼事項】**
 - 各団体から掲載情報に関する情報提供をお願いしたい

【環瀬戸HPのリニューアル（案）】：②記事充実によるHP更新頻度のアップ

②記事充実によるHP更新頻度のアップ（観光イベントの記事化）



①イベント情報の写真

えひめ南予 きずな博（愛媛県・南予9市）

2022.12.23

イベント 更新

2022年（令和4年）4月24日（日）～12月25日（日）

会場 愛媛県南予9市町（宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町）

②開催時期

③開催会場



えひめ南予
きずな博

きずな博とは・・・

何気なく交わす会話、小さな交流のひとつ。そのささやかな幸せに気づいた今だからこそほんとうの豊かさや、あたたかさとは何かを実感したい。すべての出会いは、一生の絆につながっていく。

わたしたちは「えひめシフト!!」を掲げおもてなしの心、感謝の想いを形にしためいっばいの魅力と人をつなぐ体験を準備して新しい絆が生まれる瞬間を応援していきます。

名もなき一日も、いとおいしい。そんな時間の流れるえひめへ。南予の地で、あなたを待っています。

④イベント概要の文章

きずな博 公式ホームページ

⑤関連情報のURL



愛媛県の取り組み

【記事の更新（案）】

○四季毎に各団体が行う観光イベントの記事を掲載

○更新頻度 各団体 4回/年以上

【各団体への依頼事項】

○各団体から掲載情報①～⑤に関する情報提供をお願いしたい

- 観光振興を通じた地域社会の活性化を目的に、指定エリア内の走行が定額で利用できる企画割引を実施。
- 新型コロナウイルス感染症により影響を受けている西日本エリアの観光支援のため、R2～R3年度は「西日本観光周遊ドライブパス」をJ B本四高速と連携し実施。
- R4年度も、観光振興を通じた四国の更なる活性化を目指し、7月15日より「四国まるごとドライブパス!2022」を実施中。
- お客様の**約8割**が四国旅行へのきっかけとなった誘発旅行者であり、環瀬戸内海地域の交流促進に寄与。

1. 企画割引の概要（R4年度の事例）

四国まるごとドライブパス! 2022

【対象期間】 令和4年7月15日（金）～令和5年3月31日（月）

※対象期間を、令和4年11月30日から令和5年3月31日までに変更

【対象車種】 ETC車限定（二輪車含む）

【プラン内容】

①往復料金セットプラン

発着エリアから周遊エリアまでの1往復と、周遊エリア内のご走行（乗り放題）が定額でご利用いただけるプラン。

②乗り放題プラン

周遊エリア内のご走行（乗り放題）が定額料金でご利用いただけるプラン。

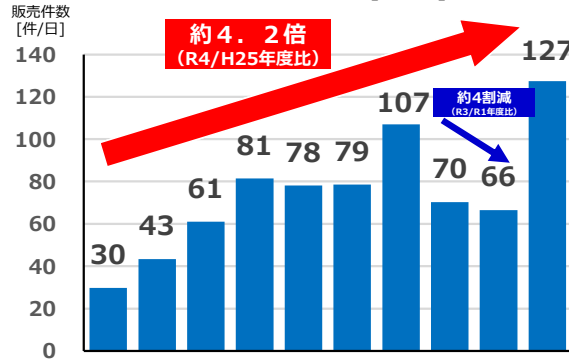
【周遊エリア】



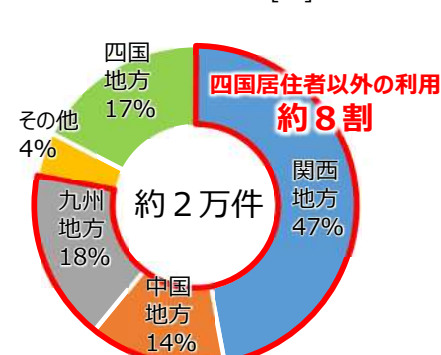
2. R4年度までの販売状況※R4.11月末時点

- 販売件数（※1）はH25からR4年度比で『約4.2倍』に増加
- コロナ禍の感染症再拡大による申込受付停止等により、R2・3年度の日あたり販売件数は減少。R4年度については活動自粛の緩和もあり、R1年度の販売実績を超える件数となる
- 四国居住者以外の利用が全体の『約8割』（※2）を占めており環瀬戸内海地域の交流促進に寄与

▼日あたり販売件数の推移 [件/日] (※1)



▼居住地別利用割合 [%] (※2)

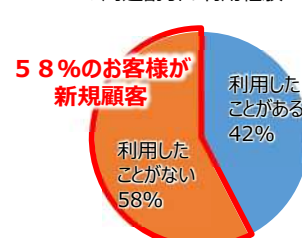


※1：本州 - 四国間交流に係る日あたり販売件数を集計（四国居住者の四国乗り放題プラン販売件数を除く）
 ※2：R4年度全プランの総販売件数（四国居住者の四国乗り放題プラン販売件数を含む）

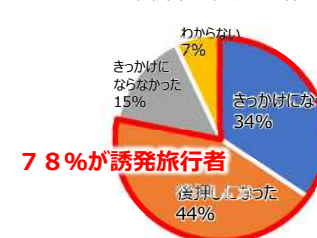
3. R4年度取組みに関するアンケート結果※R4.11月末時点

- 『約6割』のお客様が周遊割引を初めて利用される新規顧客
- 『約8割』のお客様が四国旅行へのきっかけとなる又は後押しとなった誘発旅行者
- 『約9割』のお客様が「大変満足」「満足」と回答

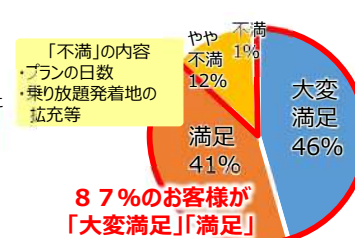
▼周遊割引の利用経験



▼四国旅行を誘発した割合



▼周遊割引の満足度



1. R4年度取組み報告

① えひめ南予きずな博ドライブパス

I. 実施内容

○対象期間

令和4年4月24日（日）～令和4年12月25日（日）
※4月28日～5月8日、8月10日～8月16日は除く

○対象車種

ETC利用の軽自動車等（二輪車を含む）、普通車

○プラン内容

愛媛県南予エリア（川内IC以西）が定額料金で乗り放題となる関西・中国・四国を発着エリアとする割引プラン

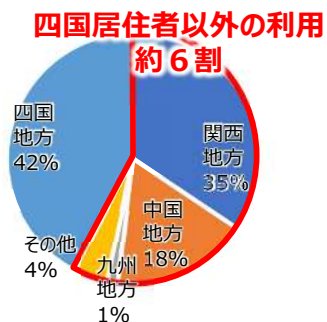
○周遊エリア



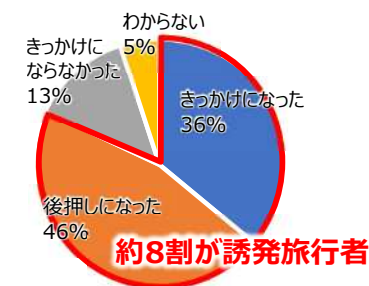
II. アンケート結果

- 四国居住者以外の利用が全体の『約6割』を占めており環瀬戸内海地域の交流促進に寄与
- 『約8割』のお客様が四国旅行へのきっかけとなる又は後押しとなった誘発旅行者
- 『約8割』のお客様が「大変満足」「満足」と回答

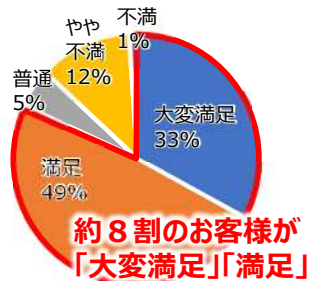
▼居住地別利用割合



▼四国旅行を誘発した割合



▼周遊割引の満足度



② お国じまんカードラリー2022

I. 実施内容

○対象期間

令和4年4月28日（木）～令和5年1月31日（火）
※4月28日～5月8日、8月10日～8月16日は除く

○イベント内容

※西日本各県、本州四国連絡高速道路(株)と連携。

「お国じまんカードラリー」

➢ 西日本各地の全156観光スポットにて、『GO! JIMANスタンプ』をスマホで集めて応募すると豪華賞品が当たるイベント

「観光ごじまん動画ラリー」

➢ 各県のPR動画を視聴し、ポイントを集めて応募すると豪華賞品が当たるイベント



II. アンケート結果

- 四国の観光スポットを訪れた四国居住者以外の利用が全体の『約7割』を占めており環瀬戸内海地域の交流促進に寄与

▼居住地別利用割合（四国観光スポット）



③ 地域連携の取組み

- 過年度より、各県の自治体の皆様に、高速道路の休憩施設で観光PRや地域製品の販売などのプロモーションを実施。
- R4年度についても、高速道路資産を活用した地域の発展・活性化に積極的に取り組んでいる。



▲馬立PA④（令和4年10月）
地元特産品および観光PR



▲豊浜SA⑤（令和4年7月）
屋外スペースにおける観光PR

- NEXCO西日本では、多様化の進む様々な地域課題に対し、自治体と当社が“**1 on 1**”で連携し、双方の有するノウハウやリソースを持ち寄り、持続可能な地域づくりを目指した課題解決と新たな価値の創出にチャレンジする『**地域共創**』活動に取り組んでいます。
- 『**地域共創**』活動の取組みとして、各地域の活性化や関連団体と連携しながら、高速道路を通してお客様に地域の魅力をお得に堪能していただくキャンペーンを実施しています。
- R4年度に実施したキャンペーンの事例では、キャンペーンによる来訪者が**約4割**増加しており、キャンペーン費用の**約3.8倍**の直接的経済効果を確認。各県・市の観光需要の創出に寄与し、地域の更なる発展と活性化に貢献しています。

1. キャンペーン企画内容

① 旅っチャ

- 「**運試し型の小型チケット販売機**」をSA・PAなどに設置し、旅先で地元ならではのグルメやショッピングを楽しめるお得なプレミアム付きクーポンを販売するイベント。

※利用料金：1回 500円



② ETCでお得クーポン

- ETC無線通行で指定ICから流入・流出した方に各自治体で使えるクーポン券を提供するイベント。



③ デジタル de スタンプラリー

- スマホを持って各自治体の「ごじまんスポット」に向かい、非接触にてデジタル方式のスタンプを収集。スタンプを集めると各自治体にちなんだ豪華商品が当たるキャンペーン。



2. 観光流動創出施策のスキーム

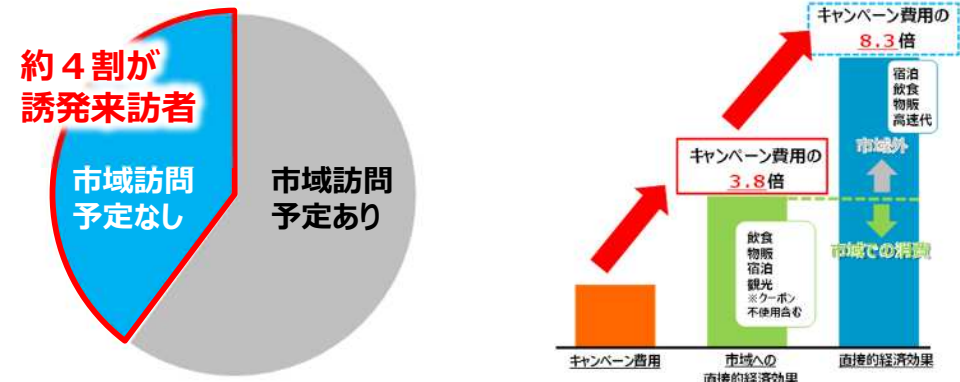


3. キャンペーンによる経済効果 ※R4年度に実施したキャンペーンの一例

- キャンペーン参加者の約4割が誘発来訪者であり、市域の誘客に貢献。
- キャンペーン費用の約3.8倍が、市域への直接的経済効果として確認。

▼参加者の市域への訪問有無

▼キャンペーンによる経済効果



※キャンペーン参加者によるアンケート調査の回答

自治体との連携による『地域共創』の取組み (R4年度)

リョーマの休日 密書ん in こうち【高知県】

○実施期間

2022年9月3日～2022年10月23日

○実施内容

「旅っチャ密書 (みっしょ) ん in こうち」

- 旅っチャ設置個所 (株) 阪急交通社 梅田支店(大阪)
淡路SA(兵庫)
豊浜SA(香川)

※都道府県と連携した観光誘客CPIは弊社初の試み

○販売効果【旅っチャ】

阪急交通社と淡路SAで、計300玉超を販売を記録し、関西方面からの誘客に貢献。
全体としては、計600玉超を販売。

(県内22の道の駅・施設でクーポン利用可)



鳴門を満喫！ なんとくドライブキャンペーン【鳴門市】

○実施期間

2022年10月1日～2022年10月30日

○実施内容

「旅っチャ 鳴門くじ」

- 旅っチャ設置個所 淡路SA(兵庫)
淡路島南PA(兵庫)

「ETC 鳴門巡りクーポン」

※徳島県内の自治体と連携した観光誘客CPIは初の試み

○販売効果【旅っチャ】

全体として計**1700玉超**の販売を記録し、鳴門市の観光需要の創出に寄与。関西方面からの誘客に貢献した。(市内55店舗・施設でクーポン利用可)



新！GO TO IYO キャンペーン【伊予市】

○実施期間

2022年9月16日～2022年10月16日

○実施内容

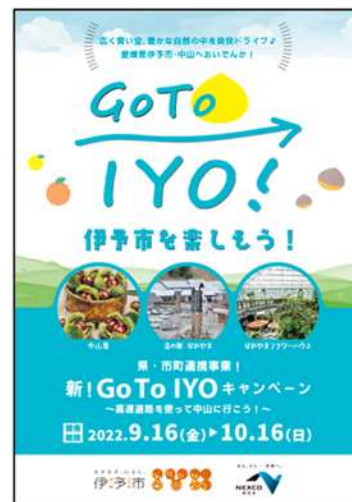
「旅っチャ 伊予ええじ」

- 旅っチャ設置個所 石鎚山SA(愛媛)
「ETC de おいでんか！ なかやま券」
「伊予じまん デジタル de スタンプラリー」

※伊予市とは **2年連続** の連携

○販売効果【旅っチャ】

昨年実績 (3,600玉超) を上回る **8,000玉** を完売し、伊予市内の消費活性化に貢献 (市内46店舗・施設でクーポン利用可)



ぐっと (GOOD) TOON キャンペーン【東温市】

○実施期間

2022年12月15日～2023年1月22日

○実施内容

「旅っチャ ぐっと東温くじ」

- 旅っチャ設置個所 石鎚山SA(愛媛)
来島海峡SA(愛媛)

「さと東温ETCでお得クーポン」

「もっと東温デジタル de スタンプラリー」

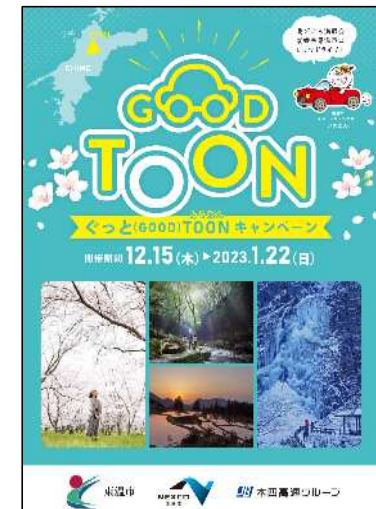
「『#GOODTOON』でプレゼント！」

「GOODTOONフォトコンテスト」

※愛媛県東温市との連携であり、冬季開催は四国で初の試み

○販売効果【旅っチャ】

来島海峡SAで、1,400玉の販売を記録し、東温市の観光需要の創出に寄与。中国方面からの誘客に貢献した。全体としては、計**2,800玉**を完売。(市内48店舗・施設でクーポン利用可)



- 日本初の道の駅をつなぐサイクリングイベントが開催され、全国各地からサイクリストが集結。（東は東京都、西は熊本県）
- 広島県尾道市から島根県松江市まで、中国山地を横断する約190kmのやまなみ街道サイクリングロードを走破。
- コース上に、10ヶ所の道の駅などをAS（エイドステーション）として活用。**自転車と道の駅がコラボしたサイクリング大会。**
- 地元の特産品を提供するなど、地域の魅力を情報発信し、知名度向上や地域活性化を図る。

第1回やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2021

- 日 時: 令和4年3月13日(日) 6時30分（尾道U2横オリーブ広場スタート）
- コース: やまなみ街道サイクリングロード192km（国道184号、国道54号、国道431号 他）
- 主 催: やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん実行委員会
「中国やまなみ街道沿線ネットワーク会議」の平田会長を実行委員長とし、沿線7市町の観光協会及び10の道の駅などが委員、沿線の7市町、島根・広島両県、中国地方整備局や（一社）中国経済連合会等がオブザーバー。
- 申込者: ソロ84名 チーム15組 合計99組 参加者数125名

第2回やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2022

- 日 時: 令和5年3月11日(土)

コース図



- ・道路にグリーンラインが引かれており走りやすく、さらに道の駅がサイクリング向けに整備されていて良かった。
- ・やまなみ街道を自転車で走り切るなんて、本大会の様なイベントがなければ、なし得なかったし、**是非、来年以降も継続してほしい。**
- ・エイドでは、各地のイチオシを提供していただき、おいしくいただきパワーになりました。

■ スタートの様子



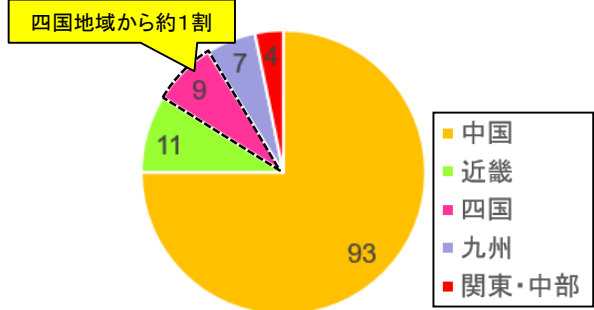
■ 地元の特産品の提供



■ AS(エイドステーション)の様子【道の駅クロスロードみつぎ】



■ 申込者数の状況(ブロック別)



【令和4年度の取組】

◆四国「道の駅」スマホDEスタンプラリー2022

実施概要

実施期間：令和4年9月30日(金)～令和4年12月31日(土)
 実施内容：四国の道の駅を巡ってスタンプを取得
 取得したスタンプを見せて現地で特典がもらえる
 取得したスタンプ数に応じた景品を抽選でプレゼント

実施結果

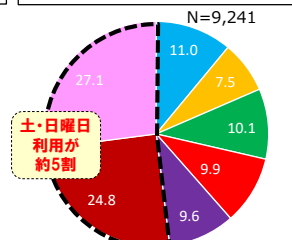
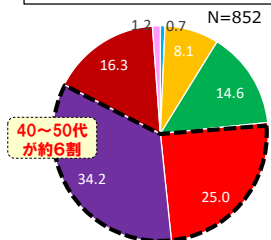
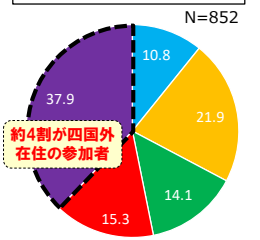
●参加人数・クリア者数・スタンプ押下数 ※令和4年12月31日時点

参加者人数		クリア者人数	スタンプ押下数
全体	情報登録者		
2,289	852	15	9,241

参加者住所別人数割合(%)

参加者年齢層別人数割合(%)

曜日別スタンプ押下人数割合(%)



■徳島 ■香川 ■愛媛 ■高知 ■四国外

■10代 ■20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代

■月曜日 ■火曜日 ■水曜日 ■木曜日 ■金曜日 ■土曜日 ■日曜日



◆四国八十八景電子スタンプラリー

実施概要

実施期間：令和4年9月16日(金)～令和5年2月12日(日)
 実施内容：四国八十八景を巡ってスタンプを取得
 取得したスタンプを見せて現地で特典がもらえる
 取得したスタンプ数に応じた景品を抽選でプレゼント

実施結果

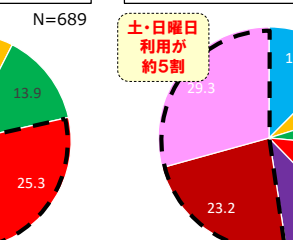
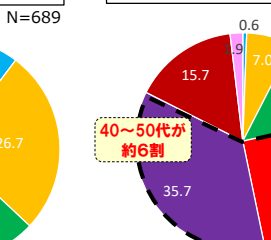
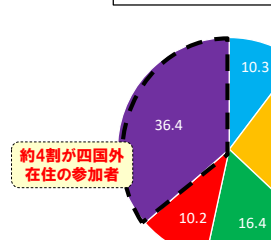
●参加人数・クリア者数・スタンプ押下数 ※令和5年2月12日時点

参加者人数		クリア者人数	スタンプ押下数
全体	情報登録者		
1,160	689	7	2,805

参加者住所別人数割合(%)

参加者年齢層別人数割合(%)

曜日別スタンプ押下人数割合(%)



■徳島 ■香川 ■愛媛 ■高知 ■四国外

■10代 ■20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代

■月曜日 ■火曜日 ■水曜日 ■木曜日 ■金曜日 ■土曜日 ■日曜日

【令和5年度以降の取組】

・令和5年度は「道の駅」をエリア単位で周遊するマップを作成しホームページに掲載予定。
 マップには「四国八十八景」をあわせて掲載。

周遊マップのイメージ図 (部分切り出し)



「道の駅」

絶景の聖地 徳島 香川 愛媛 高知
 四国八十八景

四国地方「道の駅」整備状況 89駅 (R5.1現在)

● 道の駅におけるインバウンド対応・交流促進の取組

【トイレの洋式化】

・既設設備が和式便器のみ、または和式と洋式便器の混合で整備している「道の駅」は、より良い快適性の観点から全て洋式化とし、温水洗浄便座に改修。



【フリーWi-Fiの設置】

・スマートフォンやタブレットから、24時間365日無料でアクセスでき、道路情報、気象情報、災害情報、防災情報の他、道の駅周辺の地域・観光情報などが入手可能となるフリーWi-Fiを設置。

【キャッシュレス決済環境の整備】



【多言語対応】

・「道の駅」のインバウンド観光の拠点化を目指し、JNTOの外国人案内所の認定取得を推進。



【免税対応・免税店の拡大】

・外国人旅行客の動向に関する情報提供等により、免税制度の活用を働きかけ、免税対応施設の拡大を図る。
・免税手続きに関する助成制度の認知を深める周知を行う。

【道の駅での相互連携】

・地域の観光交流拠点となる「道の駅」が相互に情報発信を行い、イベントの実施や「道の駅」共通の取組を連携し、地域の魅力を高めるとともに、旅行者の広範囲な周遊を促進。

取組状況・予定

【トイレの洋式化】

・直轄一体型「道の駅」(17駅)は、令和4年度中に整備完了を目指す。その他の駅は、令和3年度に自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」支援メニューに関する説明会を実施し、整備を支援。
(和式便器残存: R3.8 61駅 → R5.1 57駅)

【フリーWi-Fiの設置】

・令和3年度に自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」支援メニューに関する説明会を実施し、Wi-Fi環境整備を支援。
(整備済: R3.8 83駅 → R5.1 84駅)

【キャッシュレス決済環境の整備】

・令和3年度に自治体・指定管理者を対象とし、パートナー事業者、国で説明会を実施し、整備を支援。
(クレジット対応: R3.8 54駅 → R5.1 57駅)
(電子決済対応: R3.8 57駅 → R5.1 61駅)

【免税対応・免税店の拡大】

・四国地区「道の駅」連絡会等の機会に助成制度の認知を深める周知活動を実施。
(免税店認定: R3.8 4駅 → R5.1 4駅)

【多言語対応】

・直轄一体型の「道の駅」(18駅)は、令和3年度までに9駅が認定^{*}。その他の駅は、令和3年度に自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」支援メニューに関する説明会を実施し、認定取得を支援。
(^{*}JNTO外国人観光案内所認定: R3.8 18駅 → R5.1 20駅)

【道の駅での相互連携】

・スタンプラリー、地域共通の食材による新商品開発や共同販売等を各駅で連携推進。令和4年度は「電子スタンプラリー」を「四国八十八景」と相互リンクや運営サイトのメルマガで情報発信を実施。(道の駅サイト: 令和4年9月~令和4年12月)
・令和5年度は「道の駅」をエリア単位で周遊するマップを作成しホームページに掲載予定。マップには「四国八十八景」をあわせて掲載

【令和5年度以降の取組予定】

- 各団体により「SNSを活用した取り組みの情報発信」が行われている。
- ハッシュタグ（#）により環瀬戸内海地域として連携した情報を発信。

【現状】各団体でのSNSの活用状況

各団体では、観光、移住・定住、道路交通情報などを各々にSNSの公式アカウントを取得し、タイムリーな情報を発信している。

◆ Twitter「兵庫県広報」



◆ Youtube「晴れの国おかやまチャンネル」



◆ Youtube「徳島県チャンネル」



◆ Twitter「みきゃん【公式】」



◆ Facebook「広島県」



◆ Instagram「うどん県」



◆ Twitter「高知県」



※フォロワー数及び登録者数はR5.1時点

各機関のSNS公式アカウントから本協議会の取組に関連する情報をアップする際に

「#かんせと」

を付加し、連携したSNSによる情報発信を行う。